

## 2021年9月分新聞書評



### 限界風俗嬢

小野 一光 著  
集英社

性暴力の記憶、毒親、貧困、セックスレス...それぞれの「限界」を抱えて、身体を売る女性たち。お金だけではない何かを求める彼女たちの「生と性」の現実を浮き彫りにする。『よみタイ』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021:8./ 269p

978-4-08-788063-2

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/09/05



### 捨てられる男たち～劣化した「男社会」の裏で起きていること～(SB新書 545)

奥田祥子 著  
SBクリエイティブ

中年男性たちが職場が抱える課題に果敢に立ち向かいながらも、パワハラやセクハラなどの告発を受けるに至ったのはなぜか。長年男性の生きづらさ取材してきた著者が、劣化した「男社会」の実態に迫る。

2021:6./ 230p

978-4-8156-0772-2

本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2021/09/05



### あの日ジョブズは

片山 恭一／小平 尚典 著  
ワック

その男は何をしたのか？数多くの魅力的なプロダクトを世に送り出し、巨万の富を手にして、最後は病魔に倒れた。コンピュータを「友だち」にして世界を変えた男、スティーブ・ジョブズについて描く。写真も多数掲載。

2021:8./ 254p

978-4-89831-954-3

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/09/05



### ふしぎな月

富安陽子 著  
理論社

欠けては満ちる、月よ、月。ずっとそこから照らしておくれ。この世が闇に沈まぬように。海に、町に、不思議な月が昇る時、驚きに満ちた世界が広がり…。どんな場所にも光を投げかける月の存在を描いた絵本。

2021:8./ 32p

978-4-652-20457-3

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/09/05

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2021年10月時点での税込み価格です。



**カイメン～すてきなスカスカ～(岩波科学ライブラリー 生きもの 306)**

椿 玲未 著  
岩波書店

脳も心臓も胃腸もない。どこを切ってもスカスカ。そんな存在感のないカイメンが、生態系を牛耳っていた!? サンゴ礁の海も、世界一透明な湖も、彼らなしには成り立たない。人間も紀元前から利用してきた、その正体に迫る。

2021:8./ 7p,128p  
978-4-00-029706-6  
本体 ¥1,760[税込]



産経新聞 2021/09/05



**カラ売り屋 vs 仮想通貨**

黒木 亮 著  
KADOKAWA

ウォール街のカラ売りファンド、パンゲア&カンパニーが、新たに3社に目を付けた。株価を下げようとするパンゲアを、企業がマージン・コールで締め上げ…。全3編を収録。『日刊ゲンダイ』『小説野性時代』掲載を単行本化。

2021:8./ 406p,15p  
978-4-04-109772-4  
本体 ¥2,090[税込]



産経新聞 2021/09/05



**20の古典で読み解く世界史**

本村 凌二 著  
PHPエディターズ・グループ

「史記列伝」「神曲」「デカメロン」「ファウスト」「戦争と平和」「ペスト」…。古代から現代までの雄編をローマ史研究の第一人者が20に精選、あらすじからその背景にある歴史的意義までを独自の視点から解説する。

2021:8./ 406p  
978-4-569-84920-1  
本体 ¥2,013[税込]



産経新聞 2021/09/05



**奇跡の地図を作った男～カナダの測量探検家デイヴィッド・トンプソン～**

下山 晃 著  
大修館書店

約200年前、北米大陸の5分の1という広大な未踏の地域を探索・測量し、今日でも通用する精緻な地図を作り上げた測量探検家デイヴィッド・トンプソン。夢追い人と呼ばれたその生涯を、カナダの歴史とともに語る。

2021:7./ 14p,242p  
978-4-469-21384-3  
本体 ¥2,640[税込]



産経新聞 2021/09/05、東京・中日新聞 2021/09/26



**我が産声を聞きに**

白石 一文 著  
講談社

名香子はある日、肺がんの診断を受けた夫から、好きな人ができたのでその人と治療すると告げられる。呆然とする名香子だったが、事態は思いもかけぬ方向へと進んでいき…。コロナ禍の家族を描く。『小説現代』掲載を単行本化。

2021:7./ 236p  
978-4-06-523713-7  
本体 ¥1,815[税込]



産経新聞 2021/09/05、毎日新聞 2021/09/11



**特攻文学論**

井上 義和 著  
創元社

「永遠の0」「英霊の聲」といった特攻文学を幅広く参照しながら、既存の歴史認識の枠組みを無視した感動や継承の先にある近未来を予測。それらとうまく付き合う道筋を探る。「未来の戦死に向き合うためのノート」続編。

2021:8./ 231p  
978-4-422-30081-8  
本体 ¥1,980[税込]



産経新聞 2021/09/12



### 日米の絆～元駐米大使加藤良三回顧録～

三好 範英 編  
加藤 良三 著  
吉田書店

沖縄返還交渉、湾岸戦争、9.11、イラク戦争...危機でこそ生きる日米安保の秘密とは。「同盟」を生涯賭けて追求した元駐米大使・加藤良三が、外交官生活を振り返る。『読売新聞』連載「時代の証言者」を大幅加筆。

2021:7./ 13p,408p  
978-4-905497-95-0  
本体 ¥3,520[税込]



産経新聞 2021/09/12



### お天道様は見てる尾島春夫のことば

白石 あづさ 著  
文藝春秋

2018年、行方不明だった2歳児を発見し、一躍時の人となったスーパーボランティア・尾島春夫。雑草を食べ、病気知らずで、年金5万5千円で暮らし、災害があれば飛んでいく。彼の数奇な人生と名言を紹介する。

2021:8./ 295p  
978-4-16-391413-8  
本体 ¥1,815[税込]



産経新聞 2021/09/12



### 名画のドレス～拡大でみる60の服飾小事典～

内村 理奈 著  
平凡社

リボン、レース、花飾り、真珠...。フランスを中心とする18世紀から19世紀までの絵画から、服飾そのものの美しさや面白さが伝わる絵画60枚を厳選し、服飾の細部を拡大掲載。服飾用語に焦点を当てて解説する。

2021:7./ 255p  
978-4-582-62072-6  
本体 ¥3,520[税込]



産経新聞 2021/09/12



### パムクの文学講義～直感の作家と自意識の作家～

オルハン・パムク 著  
岩波書店

直感と自意識のあいだを揺れながら書かれ、読まれる「小説」という言語芸術。絵画や博物館に重ねながら想像・キャラクター・プロット・描写のコツや小説が人生と重なり合う独自の感覚を解き明かす。作家が語る読書論/創作論。

2021:8./ 5p,172p  
978-4-00-061484-9  
本体 ¥2,420[税込]



産経新聞 2021/09/12



### うちのネコ、ボクの目玉を食べちゃうの?～お答えします!みんなが知りたい死体のコト～

ケイトリン・ドーティ 著  
化学同人

「死ぬとウンチが漏れる?」「変顔で死んだらそのまま固まっちゃうの?」「死ぬ直前にポップコーンを食べて火葬されたら?」死体についての子どもたちからのドキッとす鋭い質問に、葬儀屋がユーモアたっぷりに答える。

2021:7./ 278p  
978-4-7598-2155-0  
本体 ¥2,200[税込]



産経新聞 2021/09/12



### ヴァイタル・サイン

南 杏子 著  
小学館

終末期の患者が入院する病棟で看護師として働く31歳の堤素野子は、休日でも気が休まらない過酷なシフトをこなしていた。あるとき素野子は休憩室のPCで、看護師と思われる人物のツイッターアカウントを見つけ…。医療小説。

2021:8./ 362p  
978-4-09-386620-0  
本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/09/12、東京・中日新聞 2021/09/19



### 天路

リービ 英雄 著  
講談社

アメリカを捨て日本に移り住んだ作家は、故国に残した母の死を抱えて中国の最果て、チベット高原へと赴き…。異質な言葉との出会いを通して再生の旅を描く。『群像』他掲載を書籍化。

2021:8./ 189p  
978-4-06-524375-6  
本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/09/18、毎日新聞 2021/09/25



### 刀伊の入寇〜平安時代、最大の対外危機〜(中公新書 2655)

関 幸彦 著  
中央公論新社

11世紀初頭、中国の女真族(刀伊)が対馬・壱岐と北九州沿岸に来襲し、甚大な被害をもたらした。当時の軍制もふまえて、平安時代最大の対外危機「刀伊の入寇」を検証し、武士台頭以前の戦闘の実態を明らかにする。

2021:8./ 4p,189p  
978-4-12-102655-2  
本体 ¥880〔税込〕



産経新聞 2021/09/19



### オーラの発表会

綿矢 りさ 著  
集英社

他人に興味を持たない大学生の海松子。友達に「まね師」の萌音、ひとりだけ。なのに、幼馴染の同い年男子と、男前の社会人からアプローチを受けていて…。恋愛未満小説。『すばる』連載を加筆し単行本化。

2021:8./ 234p  
978-4-08-771760-0  
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/09/19



### 数学者たちの楽園〜「ザ・シンプソンズ」を作った天才たち〜(新潮文庫 シ-37-7)

サイモン・シン 著  
新潮社

アメリカの人気風刺アニメ「ザ・シンプソンズ」の脚本家はハーバード卒だらけ。街角の貼り紙に意味不明な数式が書かれていたり、キャラクターたちの与太話の話題が宇宙物理学だったり…。作品に隠された数学の魅力を読み解く。

2021:8./ 442p,45p  
978-4-10-215977-4  
本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2021/09/19



### 更年期障害だと思ってたら重病だった話

村井 理子 著  
中央公論新社

自分の体調不良の原因が更年期障害だと信じて疑わなかった。ある日、体中がむくみ、呼吸が苦しくなるまで…。47歳で「心臓弁膜症」の診断を下された著者の闘病記。『婦人公論.jp』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021:9./ 173p  
978-4-12-005461-7  
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/09/19



### 追憶の鳥([八咫鳥シリーズ] [2-2])

阿部 智里 著  
文藝春秋

山神さまによって開かれたと伝えられる世界、山内。猿との大戦の後、そこでは一体何が起こっていたのか? 「楽園の鳥」で明かされなかった山内の“その後”を描く。八咫鳥シリーズ。

2021:8./ 304p  
978-4-16-391415-2  
本体 ¥1,650[税込]



産経新聞 2021/09/19



### 朝鮮民主主義人民共和国の陸海空軍

STEIN・ミツナー／ヨースト・オリマンズ 著  
大日本絵画

一兵が扱う歩兵携行火器から、憶測にあふれる特殊潜航艇部隊、世間を騒がす弾道ミサイルに見る朝鮮人民軍の戦略事情まで、秘密めいた北朝鮮の軍事力を徹底解剖。本邦初公開の画像やイラスト資料も収録する。

2021:9./ 240p  
978-4-499-23327-9  
本体 ¥5,720[税込]



産経新聞 2021/09/19



### 自閉症の画家が世界に羽ばたくまで〜亡き母の想いを継いだ苦闘の子育て〜

石村和徳／石村有希子 / 石村嘉成 著  
扶桑社

自閉症を持つ息子に、両親はどう接し、自立する人間へと育てていこうとしたのか。父・石村和徳が、自閉症の宣告と「療育」での意識改革から、息子が画家となるまでを、息子が 11 歳のときに亡くなった妻の献身とともに綴る。

2021:8./ 221p  
978-4-594-08868-2  
本体 ¥1,760[税込]



産経新聞 2021/09/19



### 播磨国妖綺譚

上田 早夕里 著  
文藝春秋

室町時代の播磨国。庶民のために働く心優しい法師陰陽師の兄弟、律秀と呂秀のもとに異形の鬼が現れる。鬼はかつて蘆屋道満に仕えた式神で、300 年以上も新たな主を求めていて…。『オール讀物』掲載を書籍化。

2021:9./ 235p  
978-4-16-391435-0  
本体 ¥1,870[税込]



産経新聞 2021/09/26



### 出禁の男〜テリー伊藤伝〜

本橋信宏 著  
イースト・プレス

コンプライアンスが今ほどきびしくなかった時代でも、出入り禁止ばかりを食らっていた男がいた。男は天才と称され、TV の世界を劇的に変えていった。出禁を恐れず壁を突破し続けたディレクター、テリー伊藤の半生を綴る。

2021:8./ 404p  
978-4-7816-1991-0  
本体 ¥2,750[税込]



産経新聞 2021/09/26



### 漢字とは何か〜日本とモンゴルから見る〜

宮脇 淳子 編  
岡田 英弘／宮脇 淳子／樋口 康一 著  
藤原書店

同じ漢字文化圏でも、漢字しか用いない中国語と、平仮名・片仮名を発明した日本語は、その言語=精神世界は全く異なる。漢語世界が抱える困難を鋭く見抜いた歴史学者・岡田英弘の著作集。

2021:7./ 381p  
978-4-86578-319-3  
本体 ¥3,520[税込]



産経新聞 2021/09/26



**パフォーマンス・ラーニング～たった 4 つのステップで「結果を出す」組織に変わる！**  
 ～  
 片桐 康宏／ドンギショー・リー 著  
 フローラル出版  
 目覚ましい活躍をしている企業は「学び」によって社員の能力を高めている。ビジネスの成果と生産性を向上させ、競争において優位に立つための学び「パフォーマンス・ラーニング」を提案する。

2021:8./ 271p  
 978-4-910017-16-7  
 本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/09/26



**「おばけ」と「ことば」のあやしいはなし～京極夏彦講演集～**  
 京極夏彦 著  
 文藝春秋  
 「水木しげるの作品」がウケ続けているわけ、柳田國男が「遠野物語」で描いた「河童」「山人」、「幽霊」「妖怪」「おばけ」の怖さ…。全国各地で行われた、小説家・京極夏彦の講演を集成。

2021:8./ 319p  
 978-4-16-391342-1  
 本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/09/26

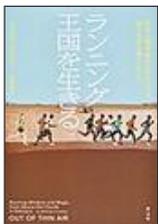


**とにもかくにもごはん**  
 小野寺 史宜 著  
 講談社  
 午後 5 時開店、午後 8 時閉店。松井波子が開いた「クロード子ども食堂」。お客さんは、デートに向かうおかあさんに置いていかれる小学生や、娘と絶縁し孤独に暮らすおじいさん…。現代社会の生きづらさと希望を描く群像劇。

2021:8./ 285p  
 978-4-06-523714-4  
 本体 ¥1,705〔税込〕



産経新聞 2021/09/26



**ランニング王国を生きる～文化人類学者がエチオピアで走りながら考えたこと～**  
 マイケル・クロウリー 著  
 青土社  
 世界トップクラスの長距離走者を次々と輩出するエチオピア。イギリス人の人類学者でフルマラソンを 2 時間 20 分で走る著者が、エチオピアのランナーたちに密着しながら、この国の知られざるランニング文化に肉薄する。

2021:7./ 314p,5p  
 978-4-7917-7397-8  
 本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/09/26、東京・中日新聞 2021/09/26



**エリック・ホブズボーム～歴史の中の人生～<上>**  
 リチャード・J. エヴァンズ 著  
 岩波書店  
 世界的歴史家エリック・ホブズボームの評伝。上は、アレクサンドリアでの誕生、ベルリンでのヒトラーの台頭の目撃、共産主義者としての活動、最初の結婚と破局など、歴史家としての道を定めるまでの前半生を描く。

2021:7./  
 13p,283p,39p  
 978-4-00-022309-6  
 本体 ¥5,830〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04



**最強の食材コオロギフードが地球を救う(小学館新書 404)**  
 野地 澄晴 著  
 小学館  
 高タンパク・低糖質で繁殖力の強い食用コオロギの研究をいち早く始めた徳島大学長がその実状を解説。「コオロギせんべい」の販売から新型コロナウイルスのワクチンへの応用、延命や再生医療への活用まで、その可能性を探る。

2021:8./ 190p  
 978-4-09-825404-0  
 本体 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04



**三千円の使いかた(中公文庫 は74-1)**

原田 ひ香 著  
中央公論新社

「人は三千円の使いかたで、人生が決まるよ」突然の入院、離婚、介護費…。御厨家の女性たちは、人生の節目とピンチを乗り越えるため、お金をどう貯めて、どう使うのか。知識も深まる「節約」家族小説。

朝日新聞 2021/09/04

2021:8./ 349p  
978-4-12-207100-1  
本体 ¥770〔税込〕



**ドルジェル伯の舞踏会(光文社古典新訳文庫 KAラ1-2)**

ラディゲ 著  
光文社

青年貴族フランソワは、社交界の花形ドルジェル伯爵夫妻に気に入られ、彼らと頻繁に過ごすようになる。気さくだが軽薄な伯爵と、そんな夫を敬愛する貞淑な妻マオ。フランソワはマオへの恋慕を抑えきれず…。

朝日新聞 2021/09/04

2019:4./ 328p  
978-4-334-75399-3  
本体 ¥924〔税込〕



**あしたのことば**

森絵都 著  
小峰書店

作家生活 30 周年を迎える直木賞作家、森絵都が「ことば」をテーマに綴る短編小説集。表題作ほか、光村図書小学校教科書「国語 6」掲載の「帰り道」など全 8 編を収録。長田結花らの人気イラストレーターによる挿絵・装画あり。

朝日新聞 2021/09/04

2020:11./ 177p  
978-4-338-31904-1  
本体 ¥1,760〔税込〕



**ヒトコブラクダ層ぜっと<上>**

万城目 学 著  
幻冬舎

貴金属泥棒で大金を手にした三つ子の前に、ライオンを連れた謎の女が現れた時、彼らの運命は急転する。砂漠の地で三つ子が目撃する驚愕の展開とは!? ジェットコースターエンターテインメント。『小説幻冬』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2021/09/04

2021:6./ 445p  
978-4-344-03799-1  
本体 ¥1,980〔税込〕



**一度だけ(幻冬舎文庫 ま-10-23)**

益田ミリ 著  
幻冬舎

夫の浮気が原因で離婚し、介護ヘルパーになった弥生。ある日、叔母がブラジル旅行に妹を誘う。なぜ自分ではなく、妹なのか。悶々とする弥生は、2人が旅行中の1週間、新しいことをすると決めて…。描き下ろし漫画も収録。

朝日新聞 2021/09/04

2021:8./ 181p  
978-4-344-43117-1  
本体 ¥649〔税込〕



**家をつくる**

王澍 著  
みすず書房

建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を中国人としてはじめて受賞した建築家、王澍。「水岸山居」などの建築作品の設計コンセプトをはじめ、その背景にある思想、都市・景観論から自身のライフヒストリーまでを語る。

朝日新聞 2021/09/04

2021:6./ 363p  
978-4-622-09009-0  
本体 ¥5,280〔税込〕





### ヒトコブラクダ層ぜっと<下>

万城目 学 著  
幻冬舎

自衛隊PKO部隊の一員としてイラクに派遣された三つ子。彼らを待ち構えていたのは砂漠の底に潜む巨大な秘密、そして絶体絶命の大ピンチだった！ジェットコースターエンターテインメント。『小説幻冬』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2021/09/04

2021:6./ 490p  
978-4-344-03800-4  
本体 ¥1,980[税込]



### 酔っぱらいが変えた世界史～アレクサンドロス大王からエリツインまで～

ブノワ・フランクバルム 著  
原書房

世界の歴史のもっとも重要な瞬間で多くの役割を果たしてきたアルコール。深酒により 32 歳で落命したアレクサンドロス大王、フランス革命とワイン、核危機渦中で泥酔するニクソン…。酒をめぐる 21 のエピソードを紹介する。

朝日新聞 2021/09/04

2021:8./ 203p  
978-4-562-05937-9  
本体 ¥2,200[税込]



### わたしのなつかしい一冊

池澤 夏樹／小島 慶子／川本 三郎／辛酸 なめ子／山内 マリコ／高村 薫／若松 英輔／小島 ゆかり／瀬浪 貞子／太田 省一／益田 ミリ／養老 孟司／江國香織／角田 光代／佐伯 一麦／河瀬 直美／堀江 敏幸／小川 洋子／加藤 陽子／藤原 帰一／中島 京子／島田 雅彦／落合 恵子／中村 吉右衛門／中村 桂子／永井 愛／片渕 須直／持田 叙子／斎藤 真理子／高階 秀爾／村上 陽一郎／橋爪 大三郎／荒川 洋治／土屋 賢二／山崎 正和／柚木 麻子／ペリー 荻野／西垣 通／津村 記久子／佐藤 優／中野 京子／行定 勲／永江 朗／山田 美保子／中西 寛／田中 優子／田中 理沙／武田 徹／あさの あつこ／水谷 修 著

毎日新聞出版

本当によい読書の記憶は「昔」の中にある。若い時に読んだものほど心の深層に定位置している。人気作家ら 50 人が、何度も読み返す<人生の一冊>を語るブックガイド。『毎日新聞』連載「なつかしい一冊」を単行本化。

朝日新聞 2021/09/04

2021:8./ 223p  
978-4-620-32693-1  
本体 ¥1,870[税込]



### エリック・ホブズボーム～歴史の中の人生～<下>

リチャード・J. エヴァンズ 著  
岩波書店

世界的歴史家エリック・ホブズボームの評伝。下は、ジャズへの傾倒と女性関係から、「売れっ子」歴史家としての活躍、スターリン批判後も共産党に留まった経緯、最期の様子と葬儀までの後半生を描く。

朝日新聞 2021/09/04

2021:7./ 7p,320p,60p  
978-4-00-022310-2  
本体 ¥5,830[税込]



### 離れがたき二人

シモーヌ・ド・ボヴォワール 著  
早川書房

今から約 100 年前のパリ。9 歳のシルヴィーは、アンドレが学校にやって来た日から彼女に魅了された。ふたりは共に成長し、語り合い、彼女たちだけの世界を築くが…。ボヴォワール未発表小説に写真や書簡等を加えて書籍化。

朝日新聞 2021/09/04

2021:7./ 221p  
978-4-15-210034-4  
本体 ¥2,750[税込]





**英語の思考法～話すための文法・文化レッスン～(ちくま新書 1583)**

井上 逸兵 著  
筑摩書房

日本語にはない英語コミュニケーション独特の「考え方」を理解すれば、自然な英語が話せるようになる! 「独立」「つながり」「対等」をキーワードに、様々なシチュエーションでの会話やマナーを豊富な具体例とともに解説。

朝日新聞 2021/09/04

2021:7./ 265p  
978-4-480-07410-2  
本体 ¥946〔税込〕



**未来(双葉文庫 み-21-09)**

湊かなえ 著  
双葉社

ある日、10歳の章子に突然届いた一通の手紙。送り主は未来の自分、30歳の章子だという。家にも学校にも居場所のない、追い詰められた子どもたちを待つ未来とは!? 長編ミステリー。

朝日新聞 2021/09/04

2021:8./ 481p  
978-4-575-52487-1  
本体 ¥858〔税込〕



**火の娘たち(岩波文庫 32-575-2)**

ネルヴァル 著  
岩波書店

パリの女優の面影が呼び覚ます、故郷ヴァロワの日々。幼なじみの娘たちの回想は、過去と現在、夢とうつつとを往還する。小説、戯曲、翻案、詩を一つに編み上げた、幻想の作家ネルヴァルの珠玉の作品集。

朝日新聞 2021/09/04

2020:3./ 613p  
978-4-00-325752-4  
本体 ¥1,386〔税込〕



**教えから学びへ～教育にとって一番大切なこと～(河出新書 035)**

汐見 稔幸 著  
河出書房新社

なぜいまの教育には「～しなければならない」が多いのか? どうすれば「みずから学ぶ」環境をつくれるのか? 50年以上、保育・教育に関わってきた教育学者が、教育の本質について語る。

朝日新聞 2021/09/04

2021:7./ 250p  
978-4-309-63136-3  
本体 ¥979〔税込〕



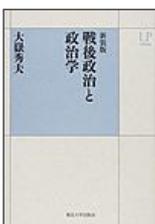
**石巻学～歩く見る聞く石巻～<vol.6> <特集>海を渡った人々**

石巻学プロジェクト 編  
こぶし書房

東日本大震災で大きな被害を受けた石巻市。豊かな歴史や文化を掘り起こし、今を生きる人の声を届ける。vol.6は、海を渡り、世界で活躍した石巻若宮丸漂流民の歴史を探る。吉村昭講演「日本の漂流記」についてなどを収録。

朝日新聞 2021/09/04

2021:8./ 165p  
978-4-87559-366-9  
本体 ¥1,650〔税込〕



**戦後政治と政治学(UP コレクション)**

大嶽 秀夫 著  
東京大学出版会

敗戦前後から1950年代末までに公刊された日本政治に関する同時代的な分析のうち、主要な業績を取り上げ、戦後政治学の歴史について具体的な日本の現実を踏まえて描く。

朝日新聞 2021/09/04

2013:7./ 9p,226p  
978-4-13-006502-3  
本体 ¥3,080〔税込〕



**海が走るエンドロール 1(ボニータ・コミックス)**

たらちねジョン 著  
秋田書店

65歳を過ぎ夫と死別し、数十年ぶりに映画館を訪れたうみ子。そこには、人生を変える衝撃的な出来事が待っていた。海(カイ)という映像専攻の美大生に会い、うみ子は気づく。自分は「映画が撮りたい側」の人間なのだ。心を騒がせてる波に誘われ、65歳、映画の海へとダイブする!!

2021:8./ 160p  
978-4-253-26521-8  
本体 ¥660〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04

**いのちの停車場(幻冬舎文庫 み-34-3)**

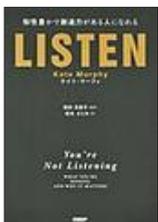
南 杏子 著  
幻冬舎

東京の救命救急センターで働いていた62歳の医師・咲和子は、故郷の金沢に戻り訪問診療医になり、現場での様々な涙や喜びを通して在宅医療を学んでいく。一方、家庭では、自宅で死を待つだけとなった父から安楽死を望まれ....

2021:4./ 390p  
978-4-344-43081-5  
本体 ¥781〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04

**LISTEN~知性豊かで創造力がある人になれる~**

ケイト・マーフィ/篠田 真貴子 著  
日経BP社

耳を傾けることは、話すことよりもずっと大切である。カウンセラーから人質交渉人まで、聞くことの重要性を明らかにし、聞く姿勢とスキルを身につけることが多種多様な課題の解決に役立つことなどを解説する。

2021:8./ 503p  
978-4-8222-8900-3  
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04

**ありのままのイメージ~スナップ美学と日本写真史~**

甲斐 義明 著  
東京大学出版会

日本の写真界で「スナップ」と呼ばれてきた撮影技法の歴史を振り返る。スナップがどのように活用され、どのような表現を生み出してきたのかを明らかにし、日本の写真文化を形成してきた美意識(スナップの美学)の存在を示す。

2021:6./ 5p,335p,15p  
978-4-13-080223-9  
本体 ¥5,720〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04

**挑発する少女小説(河出新書 033)**

斎藤 美奈子 著  
河出書房新社

大人になって読む少女小説は、新たな発見に満ちている。あの名作には、いったい何が書かれていたのか? 「小公女」「若草物語」「ハイジ」「赤毛のアン」「あしながおじさん」など、翻訳少女小説9冊を読み直す。

2021:6./ 273p  
978-4-309-63134-9  
本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04

**中東・イスラーム世界への30の扉**

西尾 哲夫/東長 靖 編  
ミネルヴァ書房

エキゾチックな魅力、特徴的なベール、テロや戦争...。中東・イスラームは日本から遠い“別世界”なのか? 「歴史」「宗教・社会」「政治」など5つに分けた30のトピックから、現代中東・イスラーム世界をひもとく。

2021:7./ 13p,365p,5p  
978-4-623-09178-2  
本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/09/04



**日本政治研究 始め～大嶽秀夫オーラル・ヒストリー～**

酒井 大輔／宗前 清貞 編  
大嶽 秀夫 著  
ナカニシヤ出版

日本政治の実証分析、レヴェイアサン、日独・日仏比較、自由主義的改革、政界再編、ジェンダー、ポピュリズム、新左翼…。政治学の現代的テーマについて、いち早く取り組んできた政治学者・大嶽秀夫のオーラル・ヒストリー。

2021:8./ 11p,335p  
978-4-7795-1592-7  
本体 ¥3,960〔税込〕

朝日新聞 2021/09/04



**MELODY**

今井 麗 著  
PARCO出版

家族のために焼いたトースト、溶けていくバター、季節の果実、使い古されたぬいぐるみ…。どこからか懐かしい MELODY が聞こえてくるような、油彩作品 106 点を取めた作品集。今井麗による作品解説、エッセイも掲載。

2021:7./ 1 冊(ページ付なし)  
978-4-86506-357-8  
本体 ¥3,630〔税込〕

朝日新聞 2021/09/04



**しごと放浪記～自分の仕事を見つけない人のために～(インターナショナル新書 081)**

森 まゆみ 著  
集英社インターナショナル

男女雇用機会均等法以前の会社勤め、思いがけない妊娠、地域雑誌の創刊、離婚して物書きへ…。1970 年代から常に切り開いてきた「しごと放浪」の道を自伝的に語る。仕事について考えるためのヒント。

2021:8./ 246p  
978-4-7976-8081-2  
本体 ¥968〔税込〕

朝日新聞 2021/09/04、読売新聞 2021/09/26



**日韓関係史(岩波新書 新赤版 1886)**

木宮 正史 著  
岩波書店

日韓関係はなぜここまで悪化したのか。その謎を解明するため、北朝鮮・中国など国際環境の変容も視野にいれながら、1945 年から現在に至る歴史を徹底分析する。

2021:7./ 4p,244p,4p  
978-4-00-431886-6  
本体 ¥924〔税込〕

朝日新聞 2021/09/04、日本経済新聞 2021/09/04



**行く、行った、行ってしまった(エクス・リブリス)**

ジェニー・エルペンベック 著  
白水社

ベルリンに辿り着いたアフリカ難民たちとの交流は、次第に元大学教授リヒャルトの日常生活の一部となっていくが…。ふたつに分断された国の記憶と、難民たちを阻む新たな「壁」。変わりゆく「境界」をめぐる内省と思索の物語。

2021:7./ 353p  
978-4-560-09068-8  
本体 ¥3,630〔税込〕

朝日新聞 2021/09/04、日本経済新聞 2021/09/18



**真実の終わり**

ミチコ・カクタニ、岡崎 玲子 著  
集英社

客観的事実が消えゆく世界で、私たちはどう生きるべきか。トランプ政権に象徴される民主主義の危機、フェイクニュースやプロパガンダがはびこる現代社会の闇を、米文壇無比の文芸評論家が読み解く。

2019:6./ 172p  
978-4-08-773496-6  
本体 ¥1,870〔税込〕

朝日新聞 2021/09/11



### アーバン・ベア～となりのヒグマと向き合う～

佐藤 喜和 著  
東京大学出版会

かつてアイヌの人々に神と崇められ、開拓期には駆除の対象となり、現代では豊かな自然の象徴となったヒグマ。かれらはなぜ市街地に出没するようになったのか。ヒグマの生態からその謎に迫る。

2021:7./ 5p,251p,13p  
978-4-13-063950-7

本体 ¥4,400〔税込〕



朝日新聞 2021/09/11



### 倒壊する巨塔～アルカイダと「9. 11」への道～<上>

ローレンス・ライト、平賀 秀明 著  
白水社

ビンラディン、ザワヒリなど「アルカイダ」の軌跡を丹念に追いかけて、その等身大の姿を描く。徐々に惨劇に向かって収斂していく様に戦慄を覚える、調査報道の頂点を示すノンフィクション。

2009:8./ 383p

978-4-560-08019-1

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/09/11



### マクルーハン発言集～メディア論の想像力～

ステファニー・マクルーハン／デイヴィッド・ステインズ 編  
マーシャル・マクルーハン 著  
みすず書房

1960年代から1970年代にかけて、メディアの専門家として頭角を現し、「メディアこそがメッセージである」などのフレーズで世界を魅了したマクルーハン。当時の講義・講演やテレビ出演など20のテキストを集成。

2021:6./ 313p,15p

978-4-622-09008-3

本体 ¥5,060〔税込〕



朝日新聞 2021/09/11



### ブローケン・ブリテンに聞け

ブレイディ みかこ 著  
講談社

EU離脱、広がる格差と分断、そしてコロナ禍。政治、経済、思想、テレビ、映画、英語、パブなど、英国社会のさまざまな断片から、激動と混沌の現在を描いた時事エッセイ集。『群像』連載を書籍化。

2020:10./ 217p

978-4-06-520900-4

本体 ¥1,485〔税込〕



朝日新聞 2021/09/11



### 生き物がいるかもしれない星の図鑑～太陽系や系外惑星、億兆の中に生命はあるか～(サイエンス・アイ新書 宇宙 SIS-447)

荒船 良孝 著  
SBクリエイティブ

地球は孤独な天体か？ 太陽系に私たち以外の生命はあるか？ 近年、大きく発展してきた地球外生命の研究に基づいて、天体ごとに、研究の状況や地球外生命が存在する可能性などをまとめる。太陽系外惑星についても紹介。

2021:8./ 182p

978-4-8156-0180-5

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/09/11



**吉原饗宴(朝日文庫 朝日時代小説文庫 き 25-2)**

菊池仁 著  
朝日新聞出版

吉原の妖しい魅力と人間模様を描いた短編集。吉原遊郭に売られてきた娘を遊女に仕立て上げる裏稼業の上ゲ屋「しづめる花」、惚れた男が忘れられず、身請け話に迷う花魁・朝霧の矜持「色男」など全6作品を収録。

朝日新聞 2021/09/11

2021:9./ 297p  
978-4-02-265007-8  
本体 ¥880〔税込〕



**鎌倉燃ゆ(PHP 文芸文庫 歴史小説傑作選 あ 6-3)**

細谷 正充 編  
安部 龍太郎／谷津 矢車／秋山 香乃／滝口 康彦／吉川 永青／高橋 直樹／  
矢野 隆 著  
PHP研究所

北条義時をはじめ、源頼朝を取り巻く鎌倉武士の壮絶な生き様を実力派作家陣が描いたアンソロジー。谷津矢車「水草の言い条」、滝口康彦「曾我兄弟」、矢野隆「重忠なり」など、全7編を収録する。

朝日新聞 2021/09/11

2021:9./ 377p  
978-4-569-90152-7  
本体 ¥990〔税込〕

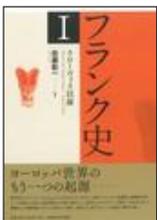


**養老先生、病院へ行く**  
養老 孟司／中川 恵一 著  
エクスナレッジ

自身の大病、愛猫の死-。養老孟司が医療との関わり方、病院嫌いの本当の理由、医療の限界と可能性、人生と死への向き合い方を、みずからもがん患者である東大病院の名医とともに語る。ヤマザキマリとの鼎談も収録する。

朝日新聞 2021/09/11

2021:4./ 191p  
978-4-7678-2881-7  
本体 ¥1,540〔税込〕



**フランク史<1> クローヴィス以前**

佐藤 彰一 著  
名古屋大学出版会

世界システムの大変動後、遠隔地交易、ローマ帝国との対抗、民族移動などを経て誕生した、500年にわたるフランク国家の通史。1は、初代王にいたる波乱の歴史を描く。

朝日新聞 2021/09/11

2021:7./ 5p,315p,76p  
978-4-8158-1030-6  
本体 ¥7,920〔税込〕



**智に働けば〜石田三成像に迫る十の短編〜(集英社文庫 や 60-1)**

山田 裕樹 編  
中島 らも／松本 匡代／南條 範夫／五味 康祐／火坂 雅志／吉川 永青／伊  
東 潤／安部 龍太郎／矢野 隆／岩井 三四二 著  
集英社

“日本一の嫌われ者”石田三成とは、いかなる人物だったのか。秀吉との出会い「三献茶」から関ヶ原での敗北に至るまで、10人の実力派作家の作品を時系列に並べて、石田三成の歴史的評価の変遷を辿る短編アンソロジー。

朝日新聞 2021/09/11

2021:7./ 412p  
978-4-08-744281-6  
本体 ¥858〔税込〕





**沖縄人民党事件～米国民政府軍事法廷に立つ瀬長亀次郎～(なんよう文庫)**

森川 恭剛 著  
インパクト出版会

戦後、米軍軍政下で沖縄の人々の心を掴んだ政治家・瀬長亀次郎。米軍に対抗した瀬長が実刑に処された「沖縄人民党事件」の公判記録等を訳出し、解説を付けながら事件の流れに沿って編集。軍裁判所の実態と弾圧の内幕を明かす。

2021:6./ 347p  
978-4-7554-3007-7  
本体 ¥3,300[税込]



朝日新聞 2021/09/11



**戦後沖縄と復興の「異音」～米軍占領下復興を求めた人々の生存と希望～**

謝花 直美 著  
有志舎

米軍占領下の沖縄復興は、本土の復興とは全く違うものだった。過酷な沖縄戦を生き延びた人々が、復興の中でも多くのものを失い、それでもなお生きつないでいった姿を、生存と生活の場から描き出す。

2021:6./ 5p,271p  
978-4-908672-49-1  
本体 ¥2,860[税込]



朝日新聞 2021/09/11



**最後の挨拶**

小林 エリカ 著  
講談社

ホームズの翻訳者だった父が倒れ、四姉妹の末っ子は家族の歴史をたどりなおす。百年前のロンドンから現在まで、家族の記憶とホームズの物語が鮮やかに交錯し…。表題作など全2編を収録。『群像』『三田文学』掲載を単行本化。

2021:7./ 184p  
978-4-06-524060-1  
本体 ¥1,760[税込]



朝日新聞 2021/09/11



**他者の靴を履く～アナーキック・エンパシーのすすめ～**

ブレイディ みかこ 著  
文藝春秋

意見の異なる相手を理解する知的能力「エンパシー」をめぐる思索の旅。“負債道徳”からジェンダーロールまで、現代社会の様々な思い込みを解き放つ。『文學界』連載を単行本化。

2021:6./ 302p  
978-4-16-391392-6  
本体 ¥1,595[税込]



朝日新聞 2021/09/11



**メディア論～人間の拡張の諸相～**

マーシャル・マクルーハン 著  
みすず書房

自動車、広告、テレビ、漫画など、現代マス社会の多様なメディアの本質と機能を分析した古典。

1987:6.  
978-4-622-01897-1  
本体 ¥6,380[税込]



朝日新聞 2021/09/11



**ベーシックインカムとジェンダー～生きづらさからの解放に向けて～**

堅田 香緒里、白崎 朝子、野村 史子、屋嘉比 ふみ子 著  
現代書館

ベーシックインカムは性別役割分業と家父長制に縛られ、制度によって選別される暮らし方・生き方からの解放をもたらすか。ジェンダー視点で見たベーシックインカムを理論的に考えた総論ほか、女性運動家らによる論考等を収録。

2011:11./ 230p  
978-4-7684-5672-9  
本体 ¥1,980[税込]



朝日新聞 2021/09/11



### 生きるためのフェミニズム～パンとバラと反資本主義～

堅田香緒里 著  
タバブックス

女性間の階層化が促され、分断させられていく社会。パンデミック下であらわになった、あらゆる格差、貧困、分断の問題を、フェミニズムの視点から読み解き、日常的で具体的な抵抗の方法を探る。『仕事文脈』ほか掲載を書籍化。

朝日新聞 2021/09/11

2021:7./ 187p  
978-4-907053-49-9  
本体 ¥1,870[税込]



### 女たちのテロル

ブレイディ みかこ 著  
岩波書店

生きる主権は我にあり-。金子文子、エミリー・デイヴィソン、マーガレット・スキニダー。道徳や恋愛の呪縛を超え、全力で生き、闘った女たちを甦らせ、未来へ解き放つ伝記エッセイ。『図書』連載に書き下ろしを追加。

朝日新聞 2021/09/11

2019:5./ 256p  
978-4-00-061342-2  
本体 ¥1,980[税込]



### 評伝福田赳夫～戦後日本の繁栄と安定を求めて～

岩波書店

「平和大国」をめざした外交活動を展開、抜群の政策能力で経済危機を抑え込み、戦後社会を繁栄と安定へと導いた福田赳夫元総理。未公開の「福田メモ」や日記、外交文書などを活用し、その実像に迫った本格評伝。

朝日新聞 2021/09/11、読売新聞 2021/09/12

2021:6./ 22p,680p  
978-4-00-024544-9  
本体 ¥5,280[税込]



### 闇の盾～政界・警察・芸能界の守り神と呼ばれた男～

寺尾 文孝 著  
講談社

人知れず「権力者」たちが処理してきた事件、トラブルの数々。その陰には必ず、この男がいた-。危機管理会社・日本リスクコントロール社長の寺尾文孝が、闇に包まれていた仕事の全てを明かす。

朝日新聞 2021/09/18

2021:6./ 350p  
978-4-06-523878-3  
本体 ¥1,980[税込]



### 官僚たちの冬～霞が関復活の処方箋～(小学館新書 342)

田中 秀明 著  
小学館

90年代以降の歴代政権が実行してきた「政治主導」に向けた改革は本当に成功したのか。片や官僚らは自ら改革に努力したのか。財務省出身学者が「平成の行政改革」の功罪を読み解き、政と官の在り方を改めて問い直す。

朝日新聞 2021/09/18

2019:2./ 253p  
978-4-09-825342-5  
本体 ¥880[税込]



### 自民党～「一強」の実像～(中公新書 2428)

中北 浩爾 著  
中央公論新社

2012年に政権に復帰し、一強状態にある自民党。関係者へのインタビューや数量的なデータなどを駆使し、多様な視角から包括的に分析。政権復帰後の自民党の特異な強さと脆さを徹底的に明らかにする。

朝日新聞 2021/09/18

2017:4./ 4p,313p  
978-4-12-102428-2  
本体 ¥968[税込]



### 白光

朝井 まかて 著  
文藝春秋

明治5年、絵師になるため故郷の笠間(茨城)を飛び出した山下りん。己に西洋画の素質があることを知り、工部美術学校に入学を果たし…。日本人初のイコン画家・山下りんの波瀾の生涯を力強く描く。『オール讀物』掲載に加筆。

2021:7./ 498p  
978-4-16-391402-2  
本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/09/18



### 表札～石垣りん詩集～

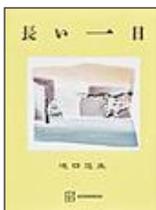
石垣りん 著  
童話屋

自分の住む所には 自分の手で表札をかけるに限る。精神の在り場所もハタから表札をかけられてはならない 石垣りん それでよい。(「表札」より) 1920～2004年の詩作の中から厳選した全29篇を収録。

2021:8./ 156p  
978-4-88747-143-6  
本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/09/18



### 長い一日

滝口 悠生 著  
講談社

小説家の夫と妻をめぐる、長いつきあいの友人たちやまわりの人々、日々の暮らしの中でふと抱く静かで深い感情、失って気づく愛着、交錯する記憶…。かけがえない時間を描いた長編小説。『本』連載を書籍化。

2021:6./ 348p  
978-4-06-523614-7  
本体 ¥2,475〔税込〕



朝日新聞 2021/09/18



### 拗ね者たらん～本田靖春 人と作品～(講談社文庫 こ31-8)

後藤 正治 著  
講談社

読売新聞社会部エース記者として名を馳せ、独立後は「不当逮捕」「誘拐」「警察回り」などの名作を生んだ孤高のジャーナリスト、本田靖春。代表作を精緻に読み解きながら、その生涯を関係者の証言を通して描く。

2021:8./ 541p  
978-4-06-523825-7  
本体 ¥1,078〔税込〕



朝日新聞 2021/09/18



### 線量計と奥の細道(集英社文庫 と32-1)

ドリアン助川 著  
集英社

東日本大震災の翌年、放射線量計を携え、芭蕉の「奥の細道」全行程約2000キロを辿る旅に出た著者が、被曝に怯えと逡巡や葛藤を抱きながら“生きる”を考えた魂の記録。写真や地図も掲載。

2021:8./ 398p  
978-4-08-744289-2  
本体 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2021/09/18



### ヴィクトール・ユゴー言葉と権力～ナポレオン三世との戦い～(平凡社新書 981)

西永 良成 著  
平凡社

絶えずみずからの生きる社会に関心を寄せ、「言葉の力」のみによって共和政確立のために戦い続けたフランスの文人政治家ヴィクトール・ユゴー。その生涯を、未訳の政治詩や演説とともに辿る。

2021:8./ 245p  
978-4-582-85981-2  
本体 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2021/09/18



**文豪と感染症～100年前のスペイン風邪はどう書かれたのか～(朝日文庫 な 54-1)**

永江 朗 編  
朝日新聞出版

病に冒され辞世の句を詠んだ芥川龍之介、マスクを憎悪した菊池寛…。100年前、20世紀最大の感染症・スペイン風邪に直面していた日本の文豪たち。彼らがスペイン風邪について記録した小説やエッセイ、日記などを収録する。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 266p  
978-4-02-265000-9  
本体 ¥748〔税込〕



**ひらやすみ(ビッグ コミックス)**

真造 圭伍 著  
小学館  
朝日新聞 2021/09/18

朝日新聞 2021/09/18

2021:9./ 192p  
978-4-09-861118-8  
本体 ¥650〔税込〕



**花代の世界～地下活動半世紀～**

花代 著  
河出書房新社

夢と現実のあわいを駆け抜ける変幻自在なアーティスト、花代。写真、インスタレーション、映像、音楽、パフォーマンス、舞踊、半玉さんなど、ジャンルを横断するすべての活動を時系列に沿って紹介する。

朝日新聞 2021/09/18

2021:7./ 317p  
978-4-309-29151-2  
本体 ¥4,620〔税込〕



**ニュースの未来(光文社新書 1151)**

石戸諭 著  
光文社

テレビ、新聞、出版…。ニュースを巡る環境が悪化するなか、これらのメディアに未来はないのか？ 気鋭のノンフィクションライターが、ニュースの本質とその未来に迫る、新時代のメディア論。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 285p  
978-4-334-04559-3  
本体 ¥946〔税込〕



**COLOR いつか見た風景**

北井一夫 著  
PCT

1970年代の高度経済成長期のいっぽうで、失われようとしている農村の営みをとらえた写真をはじめ、未発表だった「フランス放浪」を含むカラー作品 68点を掲載した写真集。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 87p  
978-4-910646-00-8  
本体 ¥3,850〔税込〕



**現代日本の政党デモクラシー(岩波新書 新赤版 1398)**

中北 浩爾 著  
岩波書店

なぜ日本政治は混迷しているのか。1994年の小選挙区制の導入から、マニフェスト選挙の開始、2009年の政権交代を経て、現在にいたる政党政治の構造的変化を、「競争デモクラシー」という概念を軸に解き明かす。

朝日新聞 2021/09/18

2012:12./  
9p,224p,14p  
978-4-00-431398-4  
本体 ¥880〔税込〕





### 光琳、富士を描く!〜幻の名作『富士三壺図屏風』のすべて〜

小林 忠 著  
小学館

2020年に日本で公開された「富士三壺図屏風」。今、なぜこんな大作が世に出てきたのか。光琳はなぜ富士山を描いたのか。秘められた謎と光琳の思想性を、江戸絵画研究の第一人者が検証する。観音開きのページあり。

朝日新聞 2021/09/18

2021:7./ 111p  
978-4-09-682357-6  
本体 ¥2,420[税込]



### 統計データの落とし穴〜その数字は真実を語るのか?〜

ピーター・シュライバー 著  
ニュートンプレス

あらゆる分野でデータの活用が喧伝される現在、データや評価指標の重視が何をもたらすのか、豊富な実例を挙げて検証。評価指標を用いる際に役立つ14の教訓も提示する。

朝日新聞 2021/09/18

2021:7./ 279p  
978-4-315-52429-1  
本体 ¥2,779[税込]



### システムを作らせる技術〜エンジニアではないあなたへ〜

白川 克/濱本 佳史 著  
日本経済新聞出版社

「会社を変えたい、新しい事業を生み出したい」と思うなら、「システムを作らせる技術」が必要。思い通りのシステムを手に入れるために「すべきこと」と、陥りやすい「落とし穴」を、豊富な実例とビジュアルで解説。

朝日新聞 2021/09/18

2021:7./ 385p  
978-4-532-32399-8  
本体 ¥2,860[税込]



### 暗き世に爆ぜ〜俳句的日常〜

小沢信男 著  
みすず書房

俳句・川柳で世語り、街歩き。東日本大震災からコロナ禍まで、世相と軽やかに切り結び、日常を綴ったエッセイ。『みすず』連載「贅々語々」など、単行本未収録エッセイを集成。絶筆「花吹雪」も収録。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 221p  
978-4-622-09031-1  
本体 ¥3,520[税込]



### 山椒魚 改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著  
新潮社

老成と若さの不思議な混淆、これを貫くのは豊かな詩精神。飄々として明るく踉々として暗い。本書は初期の短編より代表作を収める短編集である。岩屋の中に棲んでいるうちに体が大きくなり、外へ出られなくなった山椒魚の狼狽、かなしみのさまをユーモラスに描く処女作「山椒魚」、大空への旅の誘いを抒情的に描いた「屋根の上のサワン」ほか、「朽助のいる谷間」など12編。

朝日新聞 2021/09/18

1996:2./ 270p  
978-4-10-103402-7  
本体 ¥539[税込]



**米中対立～アメリカの戦略転換と分断される世界～(中公新書 2650)**

佐橋 亮 著  
中央公論新社

貿易戦争、科学技術開発競争、香港・台湾問題…。米国の対中姿勢は関与・支援から対立へとなぜ一変したのか。国交回復から現在まで、50年にわたる米中関係をたどり、米国の戦略が根本的に転換された背景を解説する。

朝日新聞 2021/09/18

2021:7./ 8p,308p  
978-4-12-102650-7  
本体 ¥1,034〔税込〕



**北に渡った言語学者～金壽卿 1918-2000～**

板垣 竜太 著  
人文書院

ソシユールの翻訳で知られる小林英夫の教えを受け、朝鮮語学の確立に貢献した、金壽卿。知への情熱、家族との離散、社会主義体制下での制約と創造。戦火と冷戦に翻弄され北朝鮮に生きた天才言語学者の生涯を描く。

朝日新聞 2021/09/18

2021:7./ 374p  
978-4-409-52087-1  
本体 ¥4,950〔税込〕



**人事の日本史(朝日新書 828)**

遠山美都男／関幸彦／山本博文 著  
朝日新聞出版

学閥の悲劇、天下りの効用、人心掌握術の極意、能力主義で停滞打破、手当支給で活性化…。歴史を動かす原動力は今も昔も人事だった！歴史家たちが古代から近世まで振り返り、人事の本質を解き明かすユニークな日本通史。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 392p  
978-4-02-295137-3  
本体 ¥1,023〔税込〕



**フランドルの冬(P+D BOOKS)**

加賀 乙彦 著  
小学館

フランス北部に広がるフランドル地方の精神病院に勤務する日本人留学生コバヤシ。青空が殆どないフランドルの空の下、コバヤシは自己と患者との境界を踏み越えて正気と狂気の間をさまよい始める…。

朝日新聞 2021/09/18

2019:7./ 564p  
978-4-09-352370-7  
本体 ¥715〔税込〕



**筒美京平～大ヒットメーカーの秘密～(文春新書 1325)**

近田 春夫 著  
文藝春秋

シングル総売上は7560万枚、作った曲は3000曲近く。名実ともに日本一のヒットメーカー、筒美京平を一貫して評価してきた著者が、実弟・作詞家・歌手と共にその創作の秘密に迫り、知られざる素顔を探り出す。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 221p  
978-4-16-661325-0  
本体 ¥935〔税込〕



**冷戦後の東アジア秩序～秩序形成をめぐる各国の構想～**

佐橋 亮 編  
勁草書房

主要国は東アジアの国際秩序をどのように認識し、どんな秩序構想を立てたのか。そして、その帰結はいかなるものだったのか。気鋭の執筆陣が冷戦後の軌跡を追い、日本の役割と東アジアの将来を見極める。

朝日新聞 2021/09/18

2020:3./ 4p,303p  
978-4-326-30288-8  
本体 ¥4,620〔税込〕





### 安全保障戦略

兼原 信克 著

日本経済新聞出版社

日本の安全保障政策体制の発展過程から官邸の機能、日米同盟、歴史戦、中国・韓国との付き合い方、日本の領土の現状まで、安全保障政策について網羅的に解説。制度の背景、歴史的経緯、日本の課題を明らかにする。

朝日新聞 2021/09/18

2021:4./ 5p,429p

978-4-532-17696-9

本体 ¥3,630〔税込〕



### 壊れた魂

アキラ・ミズバヤシ 著

みすず書房

軍国主義に命を奪われた父の壊れたヴァイオリンを甦らせようとする弦楽器職人、礼。日本とフランスを舞台に紡ぐ再生と復活の物語。フランス国内で高い評価を得た小説を、著者自身が翻訳したもの。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 237p

978-4-622-09032-8

本体 ¥3,960〔税込〕



### 共存の模索～アメリカと「二つの中国」の冷戦史～

佐橋 亮 著

勁草書房

大陸反攻を諦めない蒋介石。台湾への圧力を強める中国共産党。同盟国の信頼を勝ち取りたい一方で、無用の戦争を避けたいアメリカは、「二つの中国」にいかに向かい合ったのか。米中国交正常化までの流れを一貫した視点で描く。

朝日新聞 2021/09/18

2015:12./

12p,223p,100p

978-4-326-30246-8

本体 ¥4,620〔税込〕



### フォントの話をしよう

パイ インターナショナル 編

装幀:佐々木俊 (AYOND) 著

パイインターナショナル

各媒体に適したフォント選びや文字作り、組み方のポリシー、文字を扱う際に大切にしていること…。第一線で活躍するデザイナーたちが、タイポグラフィについて語る。フォント環境を提供する人たちの話も収録。図版も多数掲載。

朝日新聞 2021/09/18

2021:8./ 231p

978-4-7562-5455-9

本体 ¥2,420〔税込〕



### やさしい猫

中島 京子 著

中央公論新社

シングルマザーの保育士ミユキさんが心ひかれたのは、8歳年下の自動車整備士クマさん。小さな幸せが突然奪われたのは、彼がスリランカ出身の外国人だったから…。『読売新聞』夕刊連載を単行本化。

朝日新聞 2021/09/18、日本経済新聞 2021/09/25

2021:8./ 410p

978-4-12-005455-6

本体 ¥2,090〔税込〕



### 遼星北斗歌集～アイヌと云ふ新しくよい概念を～(角川ソフィア文庫 D134-1)

遼星 北斗 著

KADOKAWA

アイヌ民族復興のために立ち上がり、その生涯を捧げ、病によって27歳で早世した歌人・遼星北斗。彼の短歌、俳句、詩、童話、散文、ノートの記録などを集めるほか、解題・語注、年譜、解説も掲載する。

朝日新聞 2021/09/19

2021:6./ 347p

978-4-04-400625-9

本体 ¥990〔税込〕





### 法存立の歴史的基盤

木庭 顕 著

東京大学出版会

歴史を辿りながら占有概念を探求し、法の成立自体を究明する。「政治の成立」「デモクラシーの古典的基礎」に続く3部作の完結編。

2009:3./ 1358p

978-4-13-036136-1

本体 ¥30,800〔税込〕



朝日新聞 2021/09/25



### 誰がタリバンを育てたか

マイケル・グリフィン、伊藤 力司 著

大月書店

アフガニスタンに突然登場し、全土を席卷した謎の武装宗教集団タリバン。その背後は？ 米国、ビンラディン、タリバンの蜜月と決別等、暗闘を活写する。同時多発テロの前史。

2001:12./ 382,21p

978-4-272-21073-2

本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2021/09/25



### 某(幻冬舎文庫 か-8-2)

川上弘美 著

幻冬舎

限りなく人間に近いが、性的に未分化で染色体が不安定な某。名前も記憶もお金もないため、医師の協力のもと、絵に親しむ女子高生、性欲旺盛な男子高生、生真面目な教職員と変化し、演じ分けていく。自信を得た某は…。

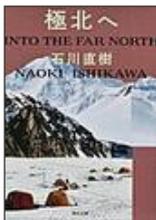
2021:8./ 430p

978-4-344-43111-9

本体 ¥825〔税込〕



朝日新聞 2021/09/25



### 極北へ(毎日文庫 い3-1)

石川 直樹 著

毎日新聞出版

北米大陸最高峰デナリの頂に立ったとき、憧れ続けていた極北の大地をめぐる終わりのない旅がはじまった。世界を駆け抜ける写真家が、人間の野性を呼び覚ます圧倒的な世界との出会いを瑞々しい文章で綴る。

2021:7./ 219p

978-4-620-21036-0

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/09/25



### 人文主義の系譜～方法の探究～

木庭 顕 著

法政大学出版局

今日の市民社会とデモクラシーの基礎をなす政治的・法的な観念体系は、「人文主義」の水脈から生まれた。ヴァッラからモミツリヤーノに至るまで、アンティクリアンな知との格闘を続けてきた西洋の思想的営為をたどる。

2021:8./ 7p,332p

978-4-588-15119-4

本体 ¥5,500〔税込〕



朝日新聞 2021/09/25



### くまがうえにのぼったら

アヤ井アキコ 著

ブロンズ新社

松の木にのぼって、からまったやまぶどうを食べていた大きなくま。枝が折れると思った松の木にはねとばされ、空でやすんでいた雨雲をつきぬけました。雨雲はたくわえていた雨を全部落としてしまい、大きなみずうみができて…。

2021:8./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-89309-691-3

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/09/25



### 開高健の本棚

開高 健 著  
河出書房新社

フランス文学から SF、捕物帳、釣り、サルトル、金子光晴、辞典まで。行動する小説家・開高健の本と読書をめぐるエッセイを多数収録。書斎や蔵書、開高が編集兼発行人を務めた PR 誌『洋酒天国』等もカラー写真で掲載する。

朝日新聞 2021/09/25

2021:9./ 165p  
978-4-309-02990-0  
本体 ¥2,420[税込]



### ローマ法案内～現代の法律家のために～ 新版

木庭 顕 著  
勁草書房

現代法律学の土台をなすローマ法。現在、大きな変化が要請されていると認識する著者が、法のみならず政治やデモクラシー、文学や哲学、信用や労働等の認識の再点検を行って、新しいローマ法像へと向かう扉を開く。

朝日新聞 2021/09/25

2017:10./ 4p,225p  
978-4-326-40342-4  
本体 ¥3,740[税込]



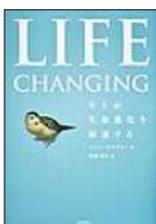
### 憲法9条へのカタバシス

木庭 顕 著  
みすず書房

精緻な 9 条 2 項論、ソクラテス・メソッドを駆使して説く憲法改正問題、近代市民社会の基底を問う漱石・鷗外論…。ローマ法を専門とする碩学が、9 条の構造をクリアに見透かす。『法律時報』ほか掲載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2021/09/25

2018:4./ 217p  
978-4-622-08673-4  
本体 ¥5,060[税込]



### LIFE CHANGING～ヒトが生命進化を加速する～

Helen Pilcher 著  
化学同人

家畜化、クローン作成、CRISPR 遺伝子編集から、雑種形成、同時代的進化、再野生化まで、人類が意図して、あるいは知らないうちに引き起こしてきた自然界の変化を、こぼれ話を織り交ぜて綴る。

朝日新聞 2021/09/25

2021:7./ 345p  
978-4-7598-2073-7  
本体 ¥2,860[税込]



### アフガニスタンの少女マジャミン

長倉 洋海 著  
新日本出版社

戦争から復興しつつあるアフガニスタンで、山の学校へ通うマジャミンは4年生。家事を手伝いながら、羊や牛の面倒もみます。そんな彼女の夢は-。「助け合って生きる」ことへの共感と、未来への希望を見つけ出せる写真集。

朝日新聞 2021/09/25

2010:9./ 47p  
978-4-406-05387-7  
本体 ¥1,760[税込]



### コロナ後の世界は中国一強か

矢吹 晋 著  
花伝社

パンデミックを契機に、米中は中国が主導権を握る「新チャイナ」体制に突入した。中国で何が起き、どうして覇権が逆転したのか。新型コロナウイルスがもたらす世界変動を、チャイナウォッチャーが解き明かす。

朝日新聞 2021/09/25

2020:7./ 174p  
978-4-7634-0935-5  
本体 ¥1,650[税込]





**天皇制と日本史～朝河貫一から学ぶ～**

矢吹 晋 著  
集広舎

戦前は皇国史観、戦後は唯物史観によって黙殺され、歪められてきた朝河史学。現代中国を分析してきた眼で、日欧封建制の比較研究を礎に日本の未来を指し示した哲人の業績と見識の今日的意義を論じる。

朝日新聞 2021/09/25

2021:8./ 11p,676p  
978-4-86735-012-6  
本体 ¥6,380〔税込〕



**91歳セツの新聞ちぎり絵ポストカードブック**

里山社  
朝日新聞 2021/09/25

朝日新聞 2021/09/25

2021:2./ 16p 32 枚  
978-4-907497-13-2  
本体 ¥1,650〔税込〕



**山賊のむすめローニャ(リンドグレーン・コレクション)**

アストリッド・リンドグレーン／イロン・ヴィークランド 著  
岩波書店

森の中で暮らす山賊、マッティス一族の娘ローニャ。ある日、宿敵ボルカー一族の息子ビルクに出会い、ふたりは友情を育んでいくが…。厳しく美しい自然を舞台に、親子の絆と葛藤、新たな世界への旅立ちと友情を描いた物語。

朝日新聞 2021/09/25

2021:8./ 302p  
978-4-00-115740-6  
本体 ¥2,530〔税込〕



**著作権は文化を発展させるのか～人権と文化コモンズ～**

山田 葵治 著  
人文書院

著作権は本当に文化のためになっているのか？ 権利論とコモンズ論を基軸に人文社会、自然科学の知見を幅広く援用し、文化とは何かまで根底的に問い直す。ユーザーの人権という視点から、著作権のパラダイム転換を提案する。

朝日新聞 2021/09/25

2021:7./ 302p  
978-4-409-24139-4  
本体 ¥3,520〔税込〕



**ばけねこ(おばけ話絵本 5)**

杉山 亮 著  
ポプラ社

かわいがっていたねこがいなくなり、あたりを必死に探す女の子。父親が止めるのも聞かずに、ねこみみやまへ探しに出かけました。森で道に迷ってしまった女の子が、助けを求めたお屋敷には…。

朝日新聞 2021/09/25

2021:7./ 31p  
978-4-591-17051-9  
本体 ¥1,540〔税込〕



**地図帳の深読み～100年の変遷～**

今尾恵介 著  
帝国書院

学校地図帳を発刊し続けている帝国書院と、地図研究家の今尾恵介による地図雑学本、第2弾。「昔の地図帳」に重心を置き、日本と世界がたどってきた歴史と地理を通して、その多様な社会の様子を振り返る。

朝日新聞 2021/09/25

2021:8./ 177p  
978-4-8071-6587-2  
本体 ¥1,980〔税込〕





### 海のアトリエ

堀川 理万子 著  
偕成社

おばあちゃんの部屋に飾ってある女の子の絵。「この子はだれ?」と聞いてみると、おばあちゃんは、子どものころの特別な思い出を話してくれて…。海が見えるアトリエで、絵描きさんと過ごしたたいせつな1週間を描いた絵本。

朝日新聞 2021/09/25

2021:5./ 32p  
978-4-03-435160-4  
本体 ¥1,540[税込]



### 政治の成立

木庭 顕 著  
東京大学出版会  
朝日新聞 2021/09/25

1997:12./ 425p  
978-4-13-031159-5  
本体 ¥11,000[税込]



### 民主主義の古典的基礎

木庭 顕 著  
東京大学出版会

ギリシャの民主主義は如何なる基礎の上に成り立っていたのか。ギリシャ悲劇や叙情詩の分析を通して民主主義の成立を論証する。民主主義論の系譜から、批判の新しい形態、政治的パラダイクマの再構造化まで論じる。

朝日新聞 2021/09/25

2003:10./ 944p  
978-4-13-036120-0  
本体 ¥24,200[税込]



### 習近平の夢〜台頭する中国と米中露三角関係〜

矢吹 晋 著  
花伝社

習近平がシルクロードにかけた夢「一帯一路」政策、アメリカの弱みを握るロシア、北朝鮮への対応、首脳会談後に連結を強める米中-。英国諜報機関「MI6」の極秘情報を入手した著者が、米中露の関係を鋭く分析する。

朝日新聞 2021/09/25

2017:6./ 3p,286p  
978-4-7634-0820-4  
本体 ¥2,750[税込]



### 名著のツボ〜賢人たちが推す!最強ブックガイド〜

石井 千湖 著  
文藝春秋

「坊っちゃん」って実はコミュ障? 「オイディプス王」は「刑事コロンボ」風ミステリー? 古今東西の優れた文学から、社会に大きな影響を与えた人文書まで、100 の名著を識者たちが読み解く。『週刊文春』連載を単行本化。

朝日新聞 2021/09/25

2021:8./ 335p  
978-4-16-391421-3  
本体 ¥1,760[税込]



### テレビ・ドキュメンタリーの真髄〜制作者 16 人の証言〜

小黒 純/西村 秀樹/辻 一郎 著  
藤原書店

「人間」「時代」「地域」の真実を視聴者に届ける優れたテレビ・ドキュメンタリーは、いかにして生み出されているのか? 民放・NHK の熟練の制作者たちに深く斬り込む、オーラル・ヒストリー。

朝日新聞 2021/09/25

2021:7./ 543p  
978-4-86578-314-8  
本体 ¥4,180[税込]





### マチズモを削り取れ

武田 砂鉄 著  
集英社

ジェンダーギャップ指数、先進国でぶつちぎりの最下位。そんな日本の公共空間にしぶとくはびこる「マチズモ=男性優位主義」の実態を、武田砂鉄が取材&徹底検証する。『すばる』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2021/09/05

2021:7./ 309p  
978-4-08-771749-5  
本体 ¥1,760[税込]



### 食べものから学ぶ世界史～人も自然も壊さない経済とは?～(岩波ジュニア新書 937)

平賀 緑 著  
岩波書店

食べものから世界経済の歴史を学べば、人も自然も壊さない「経世済民」が見えてくる。すべての問題の根底にある資本主義のカラクリを、小麦粉や砂糖、油、トウモロコシ、豚肉などの食べものから解き明かす。

東京・中日新聞 2021/09/05

2021:7./ 13p,181p  
978-4-00-500937-4  
本体 ¥902[税込]



### ブラック・チェンバー・ミュージック

阿部 和重 著  
毎日新聞出版

1冊の映画雑誌を手に入れるという謎の「極秘任務」。40を前にキャリアを失った横口健二は、北朝鮮の女密使とともに、国家を揺るがす<禁断の事実>を追うことになり…。『毎日新聞』連載を加筆し単行本化。

東京・中日新聞 2021/09/05

2021:6./ 478p  
978-4-620-10854-4  
本体 ¥2,200[税込]



### 兵諫

浅田 次郎 著  
講談社

二・二六事件の死刑囚が語る蹶起の真相。西安事件の被告人が訴える叛乱の首謀者。日本と中国の運命を変えた2つの兵乱には、いかなるつながりがあったのか。軍事法廷ミステリー。『小説現代』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2021/09/05

2021:7./ 277p  
978-4-06-523049-7  
本体 ¥1,760[税込]



### ボールと日本人～する、みる、つくる ボールゲーム大国ニッポン～

谷釜 尋徳 著  
晃洋書房

日本人のボールゲームとの出会いは、古代にまでさかのぼる。する・みるボールゲームの歴史や、「昔の人はどう動いたのか?」といった運動技術、ボール職人の存在など、ボールゲームに魅せられ続けた日本人の歴史をひも解く。

東京・中日新聞 2021/09/12

2021:8./ 9p,219p,3p  
978-4-7710-3512-6  
本体 ¥2,200[税込]



### 硝子の塔の殺人

知念 実希人 著  
実業之日本社

雪深き森で、燦然と輝く硝子の塔。ミステリを愛する大富豪の呼びかけで、一癖も二癖もあるゲストたちが招かれた。この館で次々と惨劇が起こる。謎を追うのは名探偵と医師。『アップルブックス』連載を加筆、修正。

東京・中日新聞 2021/09/12

2021:8./ 501p  
978-4-408-53787-0  
本体 ¥1,980[税込]





### ナラティブ経済学～経済予測の全く新しい考え方～

ロバート・J・シラー 著  
東洋経済新報社

謎めいたビットコイン物語は人々をどう踊らせた？ 新技術への恐怖からラダイト運動は繰り返される？ 人々が紡ぎ出す「ナラティブ」(物語)が経済を動かす様子をビットに描き出す。

東京・中日新聞 2021/09/12

2021:7./  
15p,410p,68p  
978-4-492-31533-0  
本体 ¥3,080[税込]



### 「非モテ」からはじめる男性学(集英社新書 1076)

西井 開 著  
集英社

モテないから苦しいのか？ 当事者の語り合いグループを立ち上げた著者が、男性が「非モテ」という苦悩を抱くまでの過程や内実を掘り下げ、問題の背景や構造を解明。また「非モテ」の苦悩から抜け出すための実践も提示する。

東京・中日新聞 2021/09/12、朝日新聞 2021/09/18

2021:7./ 235p  
978-4-08-721176-4  
本体 ¥924[税込]



### 振りきった、生ききった～「一発長打の大島くん」の負っか人生～

大島康徳 著  
東京新聞出版部

病気に負けたんじゃない。俺の寿命を生ききったということだ。野球選手として、がん患者として、最後まで頑張り抜いた大島康徳が、人生を振り返りながら思いを綴る。『東京新聞』連載を書籍化。中日新聞社刊と同内容。

東京・中日新聞 2021/09/19

2021:8./ 214p  
978-4-8083-1064-6  
本体 ¥1,540[税込]



### 平成史～昨日の世界のすべて～

與那覇 潤 著  
文藝春秋

昭和天皇崩御からふたつの大震災を経て、先行きが不透明になっていった日本の30年間を、政治、経済、思想、文化などあらゆる角度から振り返る。『PLANETS』メールマガジン連載に加筆・修正し書籍化。

東京・中日新聞 2021/09/19

2021:8./ 552p  
978-4-16-391411-4  
本体 ¥2,200[税込]



### 震えたのは

岩崎航 著  
ナナログ社

恐れることの 質が その時に変わった あなたを 愛している あなたのために 生きる力を われに与えよ 雨上がりの 光を見つめる(「雨上がりの光」より) 2006～2020年に詠んだ作品をまとめた第2詩集。

東京・中日新聞 2021/09/19

2021:6./ 154p  
978-4-86732-004-4  
本体 ¥1,870[税込]



### 私がホームレスだったころ～台湾のソーシャルワーカーが支える未来への一歩～

李玟萱 著  
白水社

台湾のホームレスが再起できたケースの背後には、ソーシャルワーカーの長期的な尽力があった。台湾の10人のホームレスと、彼らを支援する5人のソーシャルワーカーの人生を鮮やかに描くルポ。

東京・中日新聞 2021/09/26

2021:7./ 347p  
978-4-560-09793-9  
本体 ¥2,530[税込]



### 最悪の予感～パンデミックとの戦い～

マイケル・ルイス 著  
早川書房

世界健康安全保障指数 1 位のアメリカが、なぜ最大の「コロナ敗戦国」となったのか。コロナ禍を戦った知られざる英雄たちの姿を通じ、意思決定と危機管理の本質を描く。池上彰の解説付き。

東京・中日新聞 2021/09/26

2021:7./ 395p  
978-4-15-210039-9  
本体 ¥2,310[税込]



### 一日一考日本の政治(河出新書 032)

原 武史 著  
河出書房新社

歴史の深い闇に埋もれた言葉は、私たちの日常を読み解く鍵となる。1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 日ごとに、政治とは何かを考えるための文章や言葉を配置し、それらに対する解説を加える。

読売新聞 2021/09/05

2021:6./ 398p,6p  
978-4-309-63133-2  
本体 ¥1,089[税込]



### 落合博満論(集英社新書 1073)

ねじめ 正一 著  
集英社

孤高の天才打者にして名監督。圧倒的な実績を残しながらプロ野球界を去った落合博満。プロ野球通の作家が、彼の諸相を訪ね歩き、絵本作家・武田美穂、女優・富士真奈美らとの対談を交えながら、その魅力の淵源を探る。

読売新聞 2021/09/05

2021:6./ 222p  
978-4-08-721173-3  
本体 ¥902[税込]



### 1990年代論(河出ブックス 106)

大澤 聡 著  
河出書房新社

総括されない未決の問題として繰り返し浮上してくる 1990 年代。政治や社会、運動、宗教から、マンガやアニメ、ゲーム、音楽にいたるまで、70 年代以降生まれの論者たちによる、20 のジャンルの論考・エッセイを収録。

読売新聞 2021/09/05

2017:8./ 327p  
978-4-309-62506-5  
本体 ¥1,980[税込]



### 老人と海(新潮文庫 へ-2-4)

アーネスト・ヘミングウェイ 著  
新潮社

84 日間の不漁に見舞われた老漁師は、ひとり小舟で海へ出た。やがてその釣網に、大物の手応えが。見たこともない巨大カジキとの死闘を繰り広げた老人に、海はさらなる試練を課すのだが…。世界文学の金字塔を新訳。

読売新聞 2021/09/05

2020:7./ 191p  
978-4-10-210018-9  
本体 ¥539[税込]



### ヴァドゥーの神々～ジャマイカ、ハイチ紀行～(ちくま学芸文庫 ハ 57-1)

ゾラ・ニール・ハーストン 著  
筑摩書房

ハイチには生者と死者がいて、それからゾンビがいるのだ。20 世紀前半、ジャマイカ、ハイチでフィールドワークを行った人類学者ハーストンが、極彩色の信仰世界を描く。学術研究と口承文学のあわいを往還する異色の民族誌。

読売新聞 2021/09/05

2021:7./ 461p  
978-4-480-51058-7  
本体 ¥1,760[税込]





**誰も知らないっておきの世界遺産ベスト 100(SB 新書 550)**

小林 克己 著

SBクリエイティブ

海と空が 1 つになる天地創造のような絶景、標高 600m の奇岩に築かれた中空の修道院群…。絶対に行って損しないメジャーどころ以外の穴場の世界遺産 100 カ所を厳選し、オールカラーの絶景写真とともに紹介する。

読売新聞 2021/09/05

2021:7./ 263p

978-4-8156-0992-4

本体 ¥1,210[税込]



**アレクシエーヴィチとの対話～「小さき人々」の声を求めて～**

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ／鎌倉 英也／徐 京植／沼野 恭子 著

岩波書店

「戦争は女の顔をしていない」や「チェルノブイリの祈り」はいかに書かれたか。ノーベル文学賞作家・アレクシエーヴィチが、ドキュメンタリー文学の極意を語る。ノーベル賞受賞講演「負け戦」も収録。

読売新聞 2021/09/05

2021:6./ 9p,371p

978-4-00-061478-8

本体 ¥3,190[税込]



**仁義なき戦い 菅原文太伝**

松田 美智子 著

新潮社

故郷に背を向け、盟友たちと別れ、約束された成功を拒んだ。「男が惚れる男」、菅原文太が生涯をかけ求めたものとは。膨大な資料と関係者の証言を重ね合わせて、スターの実像をよみがえらせる。『週刊新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2021/09/05

2021:6./ 303p

978-4-10-306452-7

本体 ¥1,870[税込]



**万事快調(オール・グリーンズ)**

波木 銅 著

文藝春秋

茨城のどん詰まり、底辺工業高校には噂がある。表向きは園芸同好会だが、その実態は犯罪クラブ。メンバーは 3 人の女子高生。彼女たちが学校の屋上で育てるのは、植物は植物でも大麻だった!

読売新聞 2021/09/05

2021:7./ 309p

978-4-16-391396-4

本体 ¥1,540[税込]



**牧水の恋(文春文庫 た 31-10)**

俵 万智 著

文藝春秋

旅と酒の歌人・若山牧水は、恋の歌人でもあった。若き日をささげた恋人の持つ秘密とは。高校時代に牧水の短歌に出会って心から共感した著者が、牧水の恋の絶頂から疑惑、別れまでの秀歌を味わいつくす評伝文学。

読売新聞 2021/09/05

2021:8./ 313p

978-4-16-791741-8

本体 ¥858[税込]



**薬を食う女たち**

五所 純子 著

河出書房新社

覚醒剤や大麻、睡眠薬…女性ドラッグ中毒者たちを取材。トラウマと逸脱、カネとセックス、生きざまと死生観。現代を生きる女性たちの身に起こるさまざまな事柄、葛藤し抵抗する姿を丹念に描いた、ルポ+文学の金字塔。

読売新聞 2021/09/05

2021:6./ 237p

978-4-309-22824-2

本体 ¥1,892[税込]





### ブレイクニュース

薬丸 岳 著  
集英社

児童虐待、冤罪事件、パパ活などを独自取材し、SNS で「ブレイクニュース」として配信する自称ジャーナリスト・野依美鈴。誹謗中傷を受けながらも続ける真の目的とは…。社会派小説。『小説すばる』掲載を加筆し単行本化。

2021:6./ 375p  
978-4-08-771752-5  
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/09/05



### 日本路面電車地図鑑～懐かしい未来の乗り物～(別冊太陽)

株式会社 地理情報開発 編  
平凡社

札幌市電、嵐電、長崎電気軌道…。現在も生き残っている路面電車の路線を紹介するとともに、路面電車がどのように発展していくのかを考える。さらに、廃止されてしまった懐かしい路面電車を、地図と写真で振り返る。

2021:5./ 119p  
978-4-582-94606-2  
本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2021/09/05



### <大橋家文書>の研究～近世・近代将棋資料～

増川 宏一 著  
法政大学出版局

江戸期及び明治期の将棋史を補完するのに大きな役割を果たした<大橋家文書>。大橋家の成立、寺社奉行支配下での義務と責任、御城将棋の実態と形骸化、棋士たちの日常生活などを資料に即して読み解く。

2021:7./ 239p,7p  
978-4-588-30053-0  
本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/09/05



### きみが死んだあとで

代島治彦 著  
晶文社

1967年、10・8羽田闘争。同胞・山崎博昭の死を背負った14人は、その後の時代をどう生きたのか？同名ドキュメンタリー映画未収録のインタビューや、元日大共闘議長・秋田明大に迫る書き下ろし原稿などを掲載。

2021:6./ 442p  
978-4-7949-7269-9  
本体 ¥2,530〔税込〕



読売新聞 2021/09/05



### 安全保障と防衛力の戦後史 1971～2010～「基盤的防衛力構想」の時代～

千々和 泰明 著  
千倉書房

戦争への省察が生んだ防衛力整備に対する厳しい視線のもとで、日本の安全保障はどのように確保されたのか。基盤的防衛力構想の変遷を振り返り、戦後日本の安全保障と防衛力をめぐる政策史の実像をとらえ直す。

2021:6./ 5p,298p  
978-4-8051-1232-8  
本体 ¥6,050〔税込〕



読売新聞 2021/09/05



### 溶ける街透ける路(講談社文芸文庫 た AC7)

多和田 葉子 著  
講談社

“エッセイの元祖”モンテーニュ縁のサンテミリオン、“本の町”ヴュンズドルフ、腕利きのすりが集まるバーゼル…。世界48の町を巡り、見て、食べて、出逢って、話して、考えた-。“旅する作家”多和田葉子のエッセイ。

2021:7./ 253p  
978-4-06-524133-2  
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/09/05、朝日新聞 2021/09/25



**「太平洋の巨鷲」山本五十六～用兵思想からみた真価～(角川新書 K-365)**

大木 毅 著  
KADOKAWA

名将か、凡将か? 太平洋戦争に反対しながら、連合艦隊を指揮したことで「悲劇の提督」となった山本五十六。戦略・作戦・戦術の三次元における指揮能力と統率の面から山本五十六を解剖し、神話と俗説を解体する。

2021:7./ 331p  
978-4-04-082382-9  
本体 ¥1,012〔税込〕

読売新聞 2021/09/05、日本経済新聞 2021/09/11、毎日新聞 2021/09/11



**戦争はいかに終結したか～二度の大戦からベトナム、イラクまで～(中公新書 2652)**

千々和 泰明 著  
中央公論新社

戦争はいかに収拾すべきなのか。2 度の世界大戦から朝鮮戦争とベトナム戦争、さらに湾岸戦争やイラク戦争まで、20 世紀以降の主要な戦争の終結過程を精緻に分析。真に平和を回復するための「出口戦略」を考える。

2021:7./ 4p,296p  
978-4-12-102652-1  
本体 ¥1,012〔税込〕

読売新聞 2021/09/05、日本経済新聞 2021/09/11、毎日新聞 2021/09/11



**二魂一体の友(中公文庫 は 28-2)**

萩原 朔太郎／室生 犀星 著  
中央公論新社

北原白秋主宰の詩誌への寄稿で知り合い、近代詩を牽引する良きライバルとなった萩原朔太郎と室生犀星。四半世紀にわたって彼らが綴った、互いに関するエッセイを集成。ふたりの娘・萩原葉子と室生朝子の対談も収録する。

2021:8./ 362p  
978-4-12-207099-8  
本体 ¥1,100〔税込〕

読売新聞 2021/09/12



**おれの墓で踊れ(徳間文庫 チ 1-1)**

エイダン・チェンバーズ 著  
徳間書店

16 歳の少年ハルは、友人バリーの墓を損壊した罪で逮捕された。ハルが唯一信頼する教師の勧めで書き始めた手記から、ハルとバリーの絆と破局、ふたりが交わした誓いが明らかになって…。2021 年 8 月公開映画の原作。

2021:8./ 381p  
978-4-19-894666-1  
本体 ¥880〔税込〕

読売新聞 2021/09/12



**風と共に去りぬ～アメリカン・サーガの光と影～**

荒 このみ 著  
岩波書店

滅びゆく南部と新時代の萌芽を描いた壮大なアメリカの物語「風と共に去りぬ」。映画化で広く知られた名作を、岩波文庫版の訳者が、分断と一体化、移民史、戦争と女性の社会進出などの視点から多角的に読み解く。

2021:6./ 28p,278p,5p  
978-4-00-061473-3  
本体 ¥2,970〔税込〕

読売新聞 2021/09/12



**『一遍聖絵』の世界**

五味 文彦 著  
吉川弘文館

踊念仏で知られる一遍の生涯を描き、鎌倉時代の世相を伝える国宝「一遍聖絵」。全篇にわたって詞書に沿って構図に注目。豊富なカラー図版で一遍の足取りを辿り、絵巻の全体像と魅力に迫る。

2021:7./ 4p,126p  
978-4-642-08396-6  
本体 ¥2,200〔税込〕

読売新聞 2021/09/12



**道一自伝(全著作(森繁久彌コレクション) 第1巻)**

森繁 久彌 著  
藤原書店

名優・森繁久彌の、最後の文人としての全貌を明かす著作全集。1 は、人生 50 年の“一応の区切り”として書いた「私の履歴書-さすらいの唄」や、「森繁自伝」などを収録する。鹿島茂の解説付き。

読売新聞 2021/09/12

2019:10./ 635p  
978-4-86578-244-8  
本体 ¥3,080[税込]



**ザ・ラストバンカー～西川善文回顧録～(講談社文庫 に 35-1)**

西川 善文 著  
講談社

安宅産業処理、平和相銀・イトマン事件、UFJ 争奪戦、小泉・竹中郵政改革…。現場にいたのは、いつもこの男だった！顔が見える最後の頭取「ザ・ラストバンカー」と呼ばれた著者が、密室の出来事すべてを明かす。

読売新聞 2021/09/12

2013:11./ 353p  
978-4-06-277725-4  
本体 ¥792[税込]



**緑の家<上>(岩波文庫)**

バルガス=リョサ、木村 栄一 著  
岩波書店

インディオを手下に従えて他部族の略奪を繰り返す日本人、アマゾン奥地の村の尼僧院で暮らすインディオの少女、砂の降りしきる町に流れ着き、娼館「緑の家」を建てる盲目のハーブ弾き……。広大なペルー・アマゾンを舞台に、さまざまな人間たちの姿と現実を浮かび上がらせる、物語の壮大な交響楽。現代ラテンアメリカ文学の傑作。(全二冊)

読売新聞 2021/09/12

2010:8./ 351p  
978-4-00-327961-8  
本体 ¥1,012[税込]



**緑の家<下>(岩波文庫)**

M. バルガス=リョサ 著  
岩波書店

読売新聞 2021/09/12

2010:8./ 492p  
978-4-00-327962-5  
本体 ¥1,188[税込]



**女が学者になるとき～インドネシア研究奮闘記～ 増補(岩波現代文庫 学術 438)**

倉沢 愛子 著  
岩波書店

体当たりで挑んだジャワのフィールド調査、博士論文執筆と就職…。インドネシア研究の第一人者として知られる著者の原点とも言える日々を描いた半生記。大学を退職し、70 代半ばを迎えた今日の心境を綴った補章も収録。

読売新聞 2021/09/12

2021:8./ 8p,376p  
978-4-00-600438-5  
本体 ¥1,694[税込]



**岸信介証言録(中公文庫 は 69-1)**

原 彬久 編  
岸 信介 著  
中央公論新社

日本のその後の運命を決した 1960 年、安保改定。岸は何を思い、悩み、そして決断したのか。生前の 1 年半におよぶロングインタビューと側近、政敵の証言で構成した壮大な政治ドラマ。戦後史への貴重な証言。

読売新聞 2021/09/12

2014:11./ 541p  
978-4-12-206041-8  
本体 ¥1,320[税込]





### フランス・ユダヤの歴史<上> 古代からドレフュス事件まで

菅野 賢治 著

慶應義塾大学出版会

絶えざる人の流れに彩られた「フランス・ユダヤ」の道程を語り下ろす 2000 年の歴史絵巻。上は、異教徒としての弾圧から 19 世紀末のドレフュス事件まで、異文化の相克とアイデンティティ構築の過程をたどる。

2016:8./ 5p,440p

978-4-7664-2360-0

本体 ¥5,500〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



### 風と共に去りぬ<1>(岩波文庫 32-342-1)

マーガレット・ミッチェル 著

岩波書店

1861 年 4 月、南部ジョージア州。大農園主の娘・スカーレットは、生まれて初めて試練に直面する…。南北戦争とその後の混乱の時代を、強靱な意志の力で生き抜いてゆくスカーレットの人生と激しい愛を描いた長編小説の新訳。

2015:4./ 373p

978-4-00-323421-1

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



### 文豪と俳句(集英社新書 1079)

岸本 尚毅 著

集英社

文豪たちの俳句はどこか違う。かなり違う…。尾崎紅葉から川上弘美まで、近現代の小説家が詠んだ摩訶不思議で奥深い俳句の数々を、芭蕉や虚子といった俳人の名句と比較しながら詳細に読み解く。

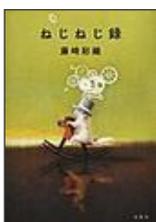
2021:8./ 284p

978-4-08-721179-5

本体 ¥1,034〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



### ねじねじ録

藤崎 彩織 著

文藝春秋

子育て、見えない敵、緊張との関係…。SEKAI NO OWARI メンバー・藤崎彩織が、文章でしか出せなかった本音とエピソードを綴った、鋭く優しくユーモアに満ちたエッセイ集。『日本経済新聞』ほか掲載を書籍化。

2021:8./ 187p

978-4-16-401003-7

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



### 日中国交正常化の政治史

井上 正也 著

名古屋大学出版会

日中国交正常化に至るまでの日本の対中国外交の史的展開について論じる。友好史観、外的衝撃論などの通説を正すとともに、外交闘争と和解の模索の両面から政策過程を捉え直し、歴史的交渉の新たな全体像を描き出す。

2010:11./ 692p

978-4-8158-0653-8

本体 ¥9,240〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



### 「命のヴィザ」言説の虚構〜リトアニアのユダヤ難民に何があったのか?〜

菅野 賢治 著

共和国/editorial republica

ナチスのホロコーストからユダヤ難民を救った「命のヴィザ」。その真の目的とは? ニューヨークのユダヤ系機関に保管されている第一級資料を調査し、第二次大戦初期のリトアニアにおけるユダヤ難民たちの境遇を明らかにする。

2021:7./ 645p

978-4-907986-81-0

本体 ¥5,720〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



**寄席育ち～六代目圓生コレクション～(岩波現代文庫 文芸 333)**

三遊亭 圓生 著  
岩波書店

明治・大正・昭和を生き抜いてきた名人・六代目三遊亭圓生。自らの生い立ち、修業時代、芸談、噺家列伝など、芸一筋の人生をつぶさに語る。綿密な考証が施され、落語史・芸能史・庶民生活史の資料としても貴重な書。

2021:6./ 15p,508p  
978-4-00-602333-1  
本体 ¥1,738〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



**フランス・ユダヤの歴史<下> 二〇世紀から今日まで**

菅野 賢治 著  
慶應義塾大学出版会

絶えざる人の流れに彩られた「フランス・ユダヤ」の道程を語り下ろす 2000 年の歴史絵巻。下は、ヴェシー政権下の迫害からシオニズム賛否に揺れる現代まで、「フランス人」と「ジュイフ」の二重性を生きる人々の感性を探る。

2016:8./ 4p,376p  
978-4-7664-2361-7  
本体 ¥4,950〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



**マルコムX～人権への闘い～(岩波新書 新赤版)**

荒 このみ 著  
岩波書店

キング牧師の「公民権運動」を批判しつつ、より普遍的な人権の獲得を主張して、1950～60年代に黒人運動の指導者として活躍したマルコムX。その生涯と言説をたどり、言動を分析し、実像を明らかにする。

2009:12./ 237,13p  
978-4-00-431224-6  
本体 ¥836〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



**就職と体育会系神話～大学・スポーツ・企業の社会学～**

東原 文郎 著  
青弓社

体育会系の学生は就職活動で本当に有利なのか。歴史と統計、そして当事者の語りを読み解きながら、「体育会系神話」の実態とそれを成立させる構造のダイナミズムを明らかにし、大学スポーツのゆくえを提示する。

2021:7./ 280p  
978-4-7872-3491-9  
本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



**「こころの旅」を歌いながら～音楽と深層心理学のめぐりあい～**

きたやま おさむ／富澤 一誠 著  
言視舎

「戦争を知らない子供たち」の女々しさ? なぜ「旅の歌」が作られたのか? 作詞家・深層心理学者きたやまおさむと音楽評論家・富澤一誠が、きたやま作品の再検討や「旅の歌」の考察を通じて、社会・文化の深層を読む。

2021:6./ 236p  
978-4-86565-203-1  
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



**東京都のトンボ**

喜多 英人 著  
いかだ社

東京都で記録されたトンボ全 108 種(2021 年 5 月現在)を、写真とともに紹介。都内と日本国内での分布、周年経過、近似種、全長といった基本情報や、環境写真、フィールドメモなども掲載する。

2021:8./ 257p  
978-4-87051-566-6  
本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2021/09/12



**福翁自伝(講談社学術文庫)**

福沢 諭吉／土橋 俊一 著  
講談社  
読売新聞 2021/09/12

2010:2./ 388p  
978-4-06-291982-1  
本体 ¥1,386〔税込〕  
\* 9 7 8 4 0 6 2 9 1 9 8 2 1 \*



**ヒロシマを暴いた男～米国人ジャーナリスト、国家権力への挑戦～**

レスリー・M・M・ブルーム 著  
集英社  
終戦から 1 年。世界を揺るがす大スクープ「ヒロシマ」は、いかにしてアメリカ軍やGHQ の隠蔽と検閲をすり抜け、世に知られたのか。国家権力に挑んだジャーナリスト、ジョン・ハーシーと雑誌『ニューヨーカー』の軌跡を辿る。

2021:7./ 284p  
978-4-08-773515-4  
本体 ¥1,980〔税込〕  
\* 9 7 8 4 0 8 7 7 3 5 1 5 4 \*

読売新聞 2021/09/12



**膨張 GAFAs との闘い～デジタル敗戦霞が関は何をしたのか～(中公新書ラクレ 732)**

若江 雅子 著  
中央公論新社  
データと富が集中する GAFAs(グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル)。日本がそれを許した一因に法制度の不備がある。激変するデータ経済、追いつかない法と意識に抗おうとした霞が関周辺の人々の闘いを描く。

2021:6./ 318p  
978-4-12-150732-7  
本体 ¥990〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 2 1 5 0 7 3 2 7 \*

読売新聞 2021/09/12



**ジョージ・F・ケナン回顧録<1>(中公文庫 ケ7-1)**

ジョージ・F・ケナン 著  
中央公論新社  
対ソ連「封じ込め」政策を提唱し、冷戦下のアメリカ外交および世界政治に決定的な影響を与えた外交官ジョージ・F・ケナンの回顧録。1 は、1925 年から 1945 年の対独戦終結までを収録する。

2016:12./ 509p  
978-4-12-206324-2  
本体 ¥1,650〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 2 2 0 6 3 2 4 2 \*

読売新聞 2021/09/12



**徳光流 生き当たりばったり**

徳光 和夫 著  
文藝春秋  
人生のコツは非まじめ、でも一生懸命! 昭和、平成、令和とニュースもスターも一番近くで目撃してきた名司会者・徳光和夫が、芸能史、趣味、夫婦愛について語る。

2021:8./ 222p  
978-4-16-391179-3  
本体 ¥1,540〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 1 7 9 3 \*

読売新聞 2021/09/12

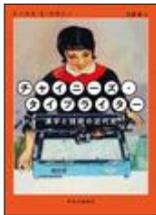


**異界神社～ニッポンの奥宮～**

本田 不二雄 著  
駒草出版  
奥宮は「この世じゃない場所」であり、異界との接点であり、ときに「あの世そのもの」でもあった。日本全国にひっそりと遺された、「神々のおわす場所」をヴィジュアルとともに紹介する。

2021:8./ 211p  
978-4-909646-43-9  
本体 ¥1,980〔税込〕  
\* 9 7 8 4 9 0 9 6 4 6 4 3 9 \*

読売新聞 2021/09/12



### チャイニーズ・タイプライター～漢字と技術の近代史～

トーマス・S・マラニー 著  
中央公論新社

中国語タイプライターの<不可能性>から繙く、近代中国の情報技術史。漢字についての発想の転換や戦時中の日中関係、入力や予測変換といった技術の起源など、波瀾と苦渋に満ちた中国語タイプライター開発の軌跡を辿る。

2021:5./ 390p  
978-4-12-005437-2  
本体 ¥4,950[税込]



読売新聞 2021/09/19



### 星のように離れて雨のように散った

島本 理生 著  
文藝春秋

幼い頃に失踪した父、書きかけの小説、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」。大学院生の春は、父との記憶を掘り起こすうちに、現在の自分の心の形が浮き彫りになっていき...。「私」をめぐる旅の物語。『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。

2021:7./ 229p  
978-4-16-391401-5  
本体 ¥1,540[税込]



読売新聞 2021/09/19



### 渦～妹背山婦女庭訓魂結び～(文春文庫 お 73-2)

大島 真寿美 著  
文藝春秋

江戸時代の大坂・道頓堀。穂積成章は父から近松門左衛門の硯をもらい、浄瑠璃作者・近松半二として歩み出す。だが弟子には先を越され、人形遣いからは何度も書き直させられ、それでも書かずにはいられず...

2021:8./ 407p  
978-4-16-791730-2  
本体 ¥869[税込]



読売新聞 2021/09/19



### アメリカナ<下>(河出文庫 ア 10-3)

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著  
河出書房新社

人種問題を扱う先鋭的なブログの書き手として注目を集めるイフェメル。一方、オビオンゼは不動産取引で巨万の富を得て、美しい妻や娘と優雅に暮らしている。別々の道を歩んだかつての恋人たちに、再会の時が訪れ...

2019:12./ 424p  
978-4-309-46704-7  
本体 ¥1,650[税込]



読売新聞 2021/09/19



### 女将さん酒場(ちくま文庫 や 59-2)

山田 真由美 著  
筑摩書房

厳しい男社会に飛び込み、生き生きと活躍する女性料理人たち。彼女たちはなぜ料理の道を志したのか、その決断を支えたものは。飲食に生きる人生を選んだ女将さんたちの想いや喜びを丁寧に描いた書き下ろしルポ。

2021:8./ 334p  
978-4-480-43758-7  
本体 ¥990[税込]



読売新聞 2021/09/19



### <趣味>としての戦争～戦記雑誌『丸』の文化史～(叢書パルマコン 04)

佐藤 彰宣 著  
創元社

「戦史と戦記と軍事の月刊雑誌」を名乗るミリタリー専門誌『丸』。独特の歴史や戦争に対する認識を形作ってきた、長寿雑誌の昭和23年の創刊から現代までの誌面を追いながら、戦争をめぐる社会言説の変容を解明する戦後史論。

2021:6./ 245p  
978-4-422-20296-9  
本体 ¥3,080[税込]



読売新聞 2021/09/19



### 完全解説ウルトラマン不滅の10大決戦(集英社新書 1077)

古谷 敏、やく みつる、佐々木 徹 著  
集英社

数あるウルトラマンと怪獣のバトルから、やくみつるが「10大決戦」を選出。舞台裏を知るスーツアクター・古谷敏、ライター・佐々木徹とともに語りつくす。ウェブサイト『集英社新書プラス』連載をもとに加筆修正。

読売新聞 2021/09/19

2021:7./ 237p  
978-4-08-721177-1  
本体 ¥1,100[税込]



### 青空と逃げる(中公文庫 つ33-1)

辻村 深月 著  
中央公論新社

深夜、俳優の夫が、著名な女優が運転する車で交通事故に遭った。夫は何も語らぬまま失踪。残された早苗と息子に悪意と追及が押し寄せ、追い詰められた2人は東京を飛び出す。壊れてしまった家族がたどりつく場所は...

読売新聞 2021/09/19

2021:7./ 457p  
978-4-12-207089-9  
本体 ¥880[税込]



### つわものの賦(文春学芸ライブラリー 歴史 42)

永井 路子 著  
文藝春秋

鎌倉幕府の成立は日本史上まれにみる大変革であった。それは、中核にいた東国武士団が、無償の奉仕と訣別し、働きに見合った恩賞を確立する中世の夜明けに他ならない。鎌倉時代の歴史小説の第一人者による総論。

読売新聞 2021/09/19

2021:9./ 397p  
978-4-16-813094-6  
本体 ¥1,540[税込]



### 新聞記者が見た古代日本～発掘の現場から～

関口和哉 著  
雄山閣

新聞記者生活 30年のうち、3分の2を「文化財記者」として過ごしてきた著者が、3～8世紀に日本の中心地だった奈良県と大阪府を中心とした発掘調査現場で考えたこと、報じたことをつづる。

読売新聞 2021/09/19

2021:7./ 220p  
978-4-639-02774-4  
本体 ¥2,640[税込]



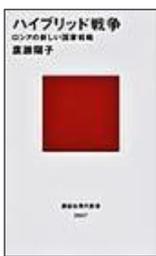
### 涅槃<下>

垣根涼介 著  
朝日新聞出版

直家は宇喜多家を再興する。同時に、近隣の浦上・三村と激しくつばぜり合いをくり返し、彼らの背後にいる巨大勢力の毛利・織田の狭間で、神経を磨り減らしながら戦い続け...。『週刊朝日』連載を単行本化。

読売新聞 2021/09/19

2021:9./ 468p  
978-4-02-251789-0  
本体 ¥1,980[税込]



### ハイブリッド戦争～ロシアの新しい国家戦略～(講談社現代新書 2607)

廣瀬 陽子 著  
講談社

執拗なサイバー攻撃、SNSを利用したプロパガンダ、暗躍する民間軍事会社...。正規と非正規を組み合わせた21世紀型戦争の実態と、ロシアの外交・軍事戦略の全貌に迫る。

読売新聞 2021/09/19

2021:2./ 347p  
978-4-06-522709-1  
本体 ¥1,320[税込]





**「学校に行きたくない」と子どもが言ったとき親ができること(ポプラ新書 212)**

石井 志昂 著  
ポプラ社

大事なのは、子どもも親も「自分を大切にすること」。自身も経験者である不登校新聞編集長が、20年の取材から得た学校へ行きたくない子どもに向き合う際のアドバイスや子育てのノウハウを纏める。汐見稔幸らとの対談も収録。

読売新聞 2021/09/19

2021:8./ 182p  
978-4-591-17078-6  
本体 ¥979[税込]



**草のみずみずしさ〜感情と自然の文化史〜**

アラン・コルバン 著  
藤原書店

「草」という存在は、神聖性、社会的地位、ノスタルジー、快楽、官能、そして「死」に至るまで、西洋文化の諸側面に独特の陰影をもたらす表象の核となってきた。「草」をめぐる感情・欲求の歴史を“感性の歴史家”が綴る。

読売新聞 2021/09/19

2021:5./ 250p  
978-4-86578-315-5  
本体 ¥2,970[税込]



**涅槃<上>**

垣根涼介 著  
朝日新聞出版

豪商・阿部善定は、幼い八郎の中に非凡さを見出し没落した宇喜多家一家を引き取る。町家で育った八郎は武門の子でありながら町や商人の暮らしに強く惹かれる。だが青年期に差し掛かるころ…。『週刊朝日』連載を単行本化。

読売新聞 2021/09/19

2021:9./ 465p  
978-4-02-251788-3  
本体 ¥1,980[税込]



**黒牢城〜Arioka Citadel case〜**

米澤 穂信 著  
KADOKAWA

織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。『カドブンノベル』他掲載に加筆修正。

読売新聞 2021/09/19

2021:6./ 445p  
978-4-04-111393-6  
本体 ¥1,760[税込]



**結〜妹背山婦女庭訓波模様〜**

大島 真寿美 著  
文藝春秋

江戸時代も半ばを過ぎた道頓堀には芝居小屋がひしめき合っていた。人形浄瑠璃に魅せられ、人形浄瑠璃のために生きた人々の喜怒哀楽と浮き沈み、せわしなくも愛しい人間模様をいきいきと描く群像時代小説。「渦」の続編。

読売新聞 2021/09/19

2021:8./ 319p  
978-4-16-391410-7  
本体 ¥1,870[税込]



**アメリカーナ<上>(河出文庫 ア10-2)**

チアママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著  
河出書房新社

高校時代に永遠の愛を約束したイフェメルとオビンゼ。アメリカに渡ったイフェメルを待っていたのは、階級、イデオロギー、人種で色分けされた、想像すらしたことのない世界で…。三つの大陸を舞台に描く長篇。

読売新聞 2021/09/19

2019:12./ 404p  
978-4-309-46703-0  
本体 ¥1,540[税込]





**幻想童話名作選～文豪怪異小品集特別篇～(平凡社ライブラリー 920)**

東 雅夫 編

泉鏡花、内田百閒、宮沢賢治ほか 著

平凡社

泉鏡花「海戦の余波」、夢野久作「ルルとミミ」、小川未明「眠い町」…。童話-ファンタジーをテーマに、名匠たちが生涯に数作、あたかも示し合わせたかのように書き残した名作を厳選して収録。文豪怪異小品シリーズ第10弾。

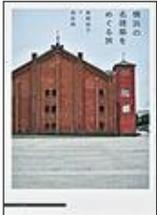
2021:7./ 391p

978-4-582-76920-3

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/09/19



**横浜の名建築をめぐる旅**

菅野 裕子／恩田 陸 著

エクスマレッジ

赤レンガ倉庫、横浜三塔、ホテルニューグランド、山手の洋館…。開港以来の華やかな歴史を留める、横浜の近代建築 32 選を多数の写真とともに紹介。建築好きの小説家・恩田陸が横浜の町の魅力を語るコラムや対談も収録。

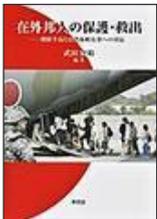
2021:7./ 189p

978-4-7678-2890-9

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/09/19



**在外邦人の保護・救出～朝鮮半島と台湾海峡有事への対応～**

武田 康裕 著

東信堂

邦人保護・救出の足枷となってきた国内法上の問題点と国際法との関係を明確化し、他国事例と比較。朝鮮半島と台湾海峡の有事における綿密なシミュレーションを行い、有事前の迅速かつ安全な邦人退避行動を提案・模索する。

2021:9./ 12p,318p

978-4-7989-1722-1

本体 ¥4,620〔税込〕



読売新聞 2021/09/19



**武器を持たないチョウの戦い方～ライバルの见えない世界で～(新・動物記 2)**

竹内 剛 著

京都大学学術出版会

動物たちに魅せられた若手研究者たちがその姿を追い求め、行動や社会、生態を明らかにしていくドキュメンタリー。武器を持たないチョウという動物に、なぜ闘争が成り立つのかをテーマにした研究をまとめる。

2021:6./ 243p

978-4-8140-0337-2

本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/09/19



**若山牧水歌集 改版(岩波文庫 緑 52-1)**

若山牧水、伊藤一彦 著

岩波書店

「幾山河越えさり行かば」「白鳥は哀しからずや」若山牧水(1885-1928)は 23 歳で、今日でも多くの人々に愛誦される名歌を詠んだ。以後 20 年、旅の歌人牧水は、平易で親しみやすい、しかも人間と人生の根幹にふれて共感を呼ぶ、数々の秀歌をのこした。彼の全短歌の中から新たに約 1700 首を選んだ新編集版。

2004:12./ 362p

978-4-00-310521-4

本体 ¥891〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



**断断のニッポン史～ありえたかもしれない敗戦後論～(中公新書ラクレ 737)**

赤上 裕幸 著  
中央公論新社

井上ひさし「一分ノ一」等の歴史改変小説、小松左京「日本沈没」等の未来小説など、断断統治や架空戦記を描いた小説・マンガ 100 作品超を検証。「歴史の if=反実仮想」から、危機克服のヒントを学ぶ。

2021:8./ 285p  
978-4-12-150737-2  
本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



**ロバート・オッペンハイマー～愚者としての科学者～(ちくま学芸文庫 フ47-1)**

藤永 茂 著  
筑摩書房

マンハッタン計画を主導し、原子爆弾を生み出した物理学者オッペンハイマーの評伝。豊富な史料をもとに、彼の足跡を丹念に辿り、政治に翻弄され、欺かれた科学者の実像に迫る。

2021:8./ 447p  
978-4-480-51071-6  
本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



**野生のごちそう～手つかずの食材を探す旅～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-1)**

ジーナ・レイ・ラ・サーヴァ 著  
亜紀書房

アフリカの密林で野生肉の違法取引を追い、有名レストラン「noma」で蟻を食べ、スウェーデンの森でヘラジカを狩り、屠る。環境人類学者がグルメの行き着く先を体当たりで探求する、思索に満ちた冒険ノンフィクション。

2021:5./ 369p  
978-4-7505-1696-7  
本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



**失敗の科学～失敗から学習する組織、学習できない組織～**

マシュー・サイド、有枝 春 著  
ディスカヴァー・トゥエンティワン

過去 2000 年余りの間に科学、技術、経済はさまざまな進化を遂げた。その過程を覗きながら、人間が失敗から学んで進化を遂げるメカニズム、あるいは創造力を発揮して革命を起こすメカニズムを明らかにする。

2016:12./ 343p  
978-4-7993-2023-5  
本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



**サメ映画大全**

知的風ハット 著  
左右社

バカンスで賑わうビーチに、雪原に、宇宙に、時には便器の中からヤツは襲い掛かる! 2020 年 12 月 31 日までに日本国内でソフト化された「サメ映画」を、A 級からトンデモまで 100 作以上紹介する。

2021:7./ 239p  
978-4-86528-034-0  
本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



**つながり続けるこども食堂**

湯浅 誠 著  
中央公論新社

誰にでも開かれたこども食堂は、コロナ禍にも負けず全国に爆発的に増え続ける。人びとの生きづらさをやわらげるこども食堂の現在とその可能性を問う。『Yahoo! ニュース個人』連載をもとに書き下ろし等を加えて単行本化。

2021:6./ 261p  
978-4-12-005438-9  
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



### 聖刻

堂場 瞬一 著  
講談社

大物司会者の息子が、元恋人を殺害したと出頭。女性刑事・柿谷晶は取り調べを始めるが、被疑者は動機について語らない。被疑者家族への悪意と戦いながら捜査を続ける晶だが、やがて事態は最悪の方向へ…。

読売新聞 2021/09/26

2021:8./ 357p  
978-4-06-524055-7  
本体 ¥1,870〔税込〕



### 日本文学全集<06> 源氏物語(下)

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。06 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「匂宮」から「夢浮橋」までを、角田光代による完全新訳で収録する。解説付き。

読売新聞 2021/09/26

2020:2./ 637p  
978-4-309-72876-6  
本体 ¥3,850〔税込〕



### 韓国の行動原理(PHP 新書 1268)

小倉 紀蔵 著  
PHP研究所

韓国は国家と思わず、ひとつの「運動団体」と捉えたほうがよい。朱子学や「王朝的歴史観」といった背景を取り上げ、法や条約より道徳にこだわる理由など、彼らの考え方を平易に解説する。

読売新聞 2021/09/26

2021:7./ 211p  
978-4-569-84998-0  
本体 ¥968〔税込〕



### 店長がバカすぎて(ハルキ文庫 は 15-1)

早見 和真 著  
角川春樹事務所

谷原京子、28 歳。吉祥寺の書店の契約社員。店長が、小説家が、弊社の社長が、営業がバカすぎて「マジ辞めてやる!」と思いながらも…。本を愛する書店員の物語。『ランティエ』掲載の早見和真×角川春樹の対談等も収録。

読売新聞 2021/09/26

2021:8./ 314p  
978-4-7584-4426-2  
本体 ¥759〔税込〕



### 完全版普通の人

安西水丸 著  
クレヴィス

鋭い観察眼でフツの光景を切り取った、水丸流おもしろ漫画。これまでに刊行された「普通の人」「平成版普通の人」に『宝島』掲載の読み切り「普通の人」を加えた完全版。著者インタビューや村上春樹による解説も掲載。

読売新聞 2021/09/26

2021:8./ 383p  
978-4-909532-65-7  
本体 ¥1,650〔税込〕



### 新編啄木歌集(岩波文庫)

石川 啄木、久保田 正文 著  
岩波書店

読売新聞 2021/09/26

1993:5./ 440p  
978-4-00-310541-2  
本体 ¥1,045〔税込〕





### なぜヒトだけが言葉を使えるのか〜コミュニケーションから探る言語の起源と進化〜

トム スコット=フィリップス 著  
東京大学出版会

言語はどのように出現し、進化したのか。言語学・認知科学・進化生物学などの成果を統合し、他者の心を読む能力を基盤とするコミュニケーションこそが、言語の起源・進化の謎を解く鍵であることを明らかにする。

2021:7./ 9p,308p,50p  
978-4-13-082020-2

本体 ¥4,400〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



### かこさとしと紙芝居〜創作の原点〜

かこさとし/鈴木万里 著  
童心社

かこさとしの代表作ともいえる絵本「どろぼうがっこう」「おたまじゃくしの 101 ちゃん」などは、元はといえば紙芝居だった。かこさとしの創作の原点ともいえる紙芝居に関する仕事をふり返り、その創作の秘密を紐解く。

2021:8./ 166p

978-4-494-02072-0

本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



### 島田謹二〜このアポリヤを解決する道はないか〜(ミネルヴァ日本評伝選)

小林 信行 著  
ミネルヴァ書房

古今東西の書物を渉猟、仙台、台湾、東京と居を移しながら、文学者や小説家と交友を深めた島田謹二。世界の文芸に精通し、本格的な比較文学・比較文化研究の先駆者となった学究の生涯をたどる。

2021:8./ 14p,309p,6p

978-4-623-09238-3

本体 ¥4,950〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



### 最後の読書(新潮文庫 つ-35-2)

津野 海太郎 著  
新潮社

80代になると、本の読み方味わい方は深くなる。筋金入りの読書家が、老いてこそわかった読書の醍醐味を綴る。「蔵書との別れ」「いつしか傘寿の読書日記」など 17編を収録。

2021:9./ 338p

978-4-10-120282-2

本体 ¥693〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



### 日本文学全集<05> 源氏物語(中)

紫式部 著  
河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。05 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「玉鬘」から「幻」までを、角田光代による完全新訳で収録する。解説付き。

2018:11./ 661p

978-4-309-72875-9

本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



### 日本文学全集<04> 源氏物語(上)

紫式部 著  
河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。04 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「桐壺」から「少女」までを、角田光代による完全新訳で収録する。しおり付き。

2017:9./ 689p

978-4-309-72874-2

本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/09/26



**戦争と平和<1>(岩波文庫)**

トルストイ 著  
岩波書店  
日本経済新聞 2021/09/04

2006:1./ 503p  
978-4-00-326181-1  
本体 ¥1,254〔税込〕  
\* 9 7 8 4 0 0 3 2 6 1 8 1 1 \*



**ファスト&スロー～あなたの意思はどのように決まるか?～<上>(ハヤカワ文庫 NF 410)**

ダニエル・カーネマン、村井 章子 著  
早川書房  
心理学者にしてノーベル経済学賞を受賞した著者が、直感的・感情的な「速い思考」と、意識的・論理的な「遅い思考」の比喩を巧みに使い、意思決定の仕組みを解き明かす。上はヒューリスティクスとバイアスなどを取り上げる。

2014:6./ 446p  
978-4-15-050410-6  
本体 ¥924〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 4 1 0 6 \*

日本経済新聞 2021/09/04



**2030～世界の大変化を「水平思考」で展望する～**

マウロ・ギレン 著  
早川書房  
2030年。消費の中心が欧米からアジア・アフリカに移り、世界の富は男性より女性の方が多く持つようになる未来でどのように生きるべきか。水平思考をキーワードに変化の波にいち早く乗る方法を説く。

2021:6./ 394p  
978-4-15-210029-0  
本体 ¥2,530〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 5 2 1 0 0 2 9 0 \*

日本経済新聞 2021/09/04

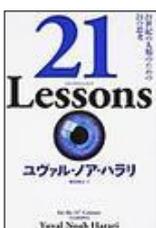


**希望の歴史～人類が善き未来をつくるための18章～<上>**

ルトガー・ブレグマン 著  
文藝春秋  
近現代の社会思想は“性悪説”で動き、それを裏付けるような心理学実験や人類学の調査がなされてきた。だが、これらは本当か。著者は定説の真偽を確かめるべく世界中を飛び回り…。西洋思想を貫く「暗い思想」に挑む。

2021:7./ 269p  
978-4-16-391407-7  
本体 ¥1,980〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 4 0 7 7 \*

日本経済新聞 2021/09/04



**21 Lessons～21世紀の人類のための21の思考～**

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著  
河出書房新社  
“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している21の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

2019:11./ 466p  
978-4-309-22788-7  
本体 ¥2,640〔税込〕  
\* 9 7 8 4 3 0 9 2 2 7 8 8 7 \*

日本経済新聞 2021/09/04



**ブックセラーズ・ダイアリー～スコットランド最大の古書店の一年～**

ショーン・バイセル 著  
白水社  
本を買いに行ったはずが、本屋を買ってしまった-。変わり者の店主が、それ以上に変人ぞろいの店員や客とともに、ネット書店時代の荒波に立ち向かう、人間模様と奮闘の記録。

2021:7./ 335p  
978-4-560-09855-4  
本体 ¥3,300〔税込〕  
\* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 8 5 5 4 \*

日本経済新聞 2021/09/04



### 外交交渉四〇年 蕨中三十二回顧録

蕨中 三十二 著  
ミネルヴェ書房

北米局課長時代に日米構造協議を担当し、アジア大洋州局長として六者会合の日本代表を務めた蕨中三十二が、外交官として走り抜けた 40 年間の振り返り。交渉で国を、世界を動かしてきた「外交のプロ」のすべてを記した回顧録。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:7./ 16p,295p,5p  
978-4-623-09210-9

本体 ¥3,080[税込]



### 中小企業の人材開発

中原 淳/保田 江美 著  
東京大学出版会

日本企業の 99.7%、従業員数の 68.8%が中小企業。中小企業で人材はどのように育っているのか。日本の中小企業における人材開発の実態とメカニズムを、定量・定性データから実証的に探る。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:5./ 3p,193p

978-4-13-040297-2

本体 ¥3,740[税込]



### 大河の一滴(幻冬舎文庫)

五木 寛之 著  
幻冬舎

日本経済新聞 2021/09/04

1999:3./ 328p

978-4-87728-704-7

本体 ¥523[税込]



### 貝に続く場所にて

石沢 麻依 著  
講談社

ドイツの学術都市に暮らす私の元に、2011年3月の震災で行方不明になったはずの友人が現れる。コロナ禍が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合い…。静謐な祈りをこめて描く鎮魂の物語。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:7./ 151p

978-4-06-524188-2

本体 ¥1,540[税込]



### 老いる意味~うつ、勇気、夢~(中公新書ラクレ 718)

森村 誠一 著  
中央公論新社

身体が老いても病を経験しても、心は老いてしまうわけではない。老いを恐れず、残された日々を自然体でいること。老人性うつ病を克服した作家・森村誠一が、老後の生きかたの意味を提言する。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:2./ 237p

978-4-12-150718-1

本体 ¥924[税込]



### 希望の歴史~人類が善き未来をつくるための18章~<下>

ルトガー・ブレグマン 著  
文藝春秋

「人間の本性は善である」ことを人類史、心理学、思想史、経済史を横断して論じる。そして善人が悪人になってしまう理由とは何か、なぜ人類は生き残ったのか、これから生き延びるためにどうすればよいかを綴った「希望の書」。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:7./ 269p

978-4-16-391408-4

本体 ¥1,980[税込]





**ぼくの昆虫学の先生たちへ(筑摩選書 0215)**

今福 龍太 著  
筑摩書房

ファーブル、ダーウィン、ヘッセ、北杜夫、手塚治虫、ナボコフ、安部公房…。少年時代に昆虫を追いか求めた文化人類学者が、未知なる生命の世界に導いてくれた14人の師に向けて書いた架空の手紙。『ちくま』連載を書籍化。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:7./ 293p,9p  
978-4-480-01734-5  
本体 ¥1,870[税込]



**コード・ガールズ～日独の暗号を解き明かした女性たち～**

ライザ・マンディ 著  
みすず書房

第二次世界大戦中、米陸・海軍に雇われ、日本やドイツなど枢軸国の暗号読解を担ったアメリカ人女性たちがいた。戦後も守秘義務を守った当事者らへのインタビューや当時の手紙、史料とともに、その全貌を描く。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:7./ 443p,43p  
978-4-622-09019-9  
本体 ¥3,960[税込]



**心の進化を解明する～バクテリアからバツハへ～**

ダニエル・C.デネット、木島 泰三 著  
青土社

原始的生物バクテリアは、いかにしてバツハの創造性を手に入れるに至ったか。哲学者デネットが、自然選択説を唱えたダーウィンと現代のコンピューターの基本的着想を提起したチューリングを柱に、「心の進化」を解明する。

日本経済新聞 2021/09/04

2018:6./ 712p,34p  
978-4-7917-7075-5  
本体 ¥4,620[税込]



**文明の生態史観 改版(中公文庫)**

梅棹 忠夫 著  
中央公論新社

東と西、アジア対ヨーロッパという、慣習的な座標軸のなかに捉えられてきた世界史に革命的な新視点を導入した比較文明論の名著。

日本経済新聞 2021/09/04

1998:1./ 349p  
978-4-12-203037-4  
本体 ¥817[税込]



**人間の証明(角川文庫 も 3-92)**

森村 誠一 著  
KADOKAWA

西条八十の詩集を持った黒人が、ナイフで胸を刺されて殺害された。棟居刑事は奥深い事件の謎を追って被害者の過去を遡るが、やがて事件は自らの過去の因縁をも手繰り寄せ…。文庫オリジナル短編「永遠のマフラー」も収録。

日本経済新聞 2021/09/04

2015:2./ 509p  
978-4-04-102599-4  
本体 ¥792[税込]



**ファスト&スロー～あなたの意思はどのように決まるか?～<下>(ハヤカワ文庫 NF 411)**

ダニエル・カーネマン 著  
早川書房

心理学者にしてノーベル経済学賞を受賞した著者が、直感的・感情的な「速い思考」と、意識的・論理的な「遅い思考」の比喩を巧みに使い、意思決定の仕組みを解き明かす。下は自信過剰、選択などを取り上げる。

日本経済新聞 2021/09/04

2014:6./ 427p  
978-4-15-050411-3  
本体 ¥924[税込]





### 新ジャポニズム産業史 1945-2020

マット・アルト(MATT ALT) 著  
日経BP社

いま、宮崎駿が、エヴァが、ポケモンが世界を魅了する秘密とは。日本のポップカルチャーを研究するアメリカ人ライターが、1945年～2010年代の日本のトレンドの背景を、主にアメリカに関係する例を挙げて解説する。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:7./ 436p  
978-4-296-00029-6  
本体 ¥2,640[税込]



### 誰にも奪われたくない/凸撃

児玉 雨子 著  
河出書房新社

どうして私たちは、ひとりきりで存在できないの。業界関係者の新年会で知り合った作曲家のレイカとアイドルの真子。2人は倦んだ日々からこぼれる本当の言葉を分け合う。気鋭の作詞家による初小説。『文藝』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:7./ 150p  
978-4-309-02976-4  
本体 ¥1,694[税込]



### 冥界からの電話(新潮文庫 さ-20-4)

佐藤 愛子 著  
新潮社

ある日、死んだはずの少女から電話がかかってきた。数々の超常現象に見舞われてきた著者が、友人の医師から聞いて巻き込まれた不思議な出来事とは。97歳の著者が実体験よりたどり着いた渾身のメッセージ。

日本経済新聞 2021/09/04

2021:8./ 158p  
978-4-10-106414-7  
本体 ¥506[税込]



### ミャンマー政変～クーデターの深層を探る～(ちくま新書 1587)

北川 成史 著  
筑摩書房

民政移管後もなお大きな力を維持していたミャンマー国軍は、なぜクーデターを起こしたのか。その背景にある、国軍、アウンサンスーチー率いる民主派 NLD、少数民族の因縁を現地取材をもとに紐解き、クーデターの深層を探る。

日本経済新聞 2021/09/04、読売新聞 2021/09/12

2021:7./ 254p  
978-4-480-07412-6  
本体 ¥924[税込]



### 林達夫 編集の精神

落合 勝人 著  
岩波書店

関東大震災、そして戦争の時代。圧倒的な崩壊の前に、人の弱さへの痛切な思いに貫かれた思想家は、ある独特な行動に乗りだした。林達夫の<編集者>としての側面に光を当て、その生涯の軌跡を描き直す。

日本経済新聞 2021/09/04、読売新聞 2021/09/26

2021:8./ 10p,355p,7p  
978-4-00-061482-5  
本体 ¥3,960[税込]



### 独ソ戦～絶滅戦争の惨禍～(岩波新書 新赤版 1785)

大木 毅 著  
岩波書店

これは絶滅戦争なのだ。ヒトラーが断言したとき、ドイツとソ連との血で血を洗う皆殺しの闘争が始まった。想像を絶する独ソ戦の惨禍。歴史修正主義の歪曲を正し、現代の野蛮とも呼ぶべき戦争の本質をえぐり出す。

日本経済新聞 2021/09/11

2019:7./ 20p,248p  
978-4-00-431785-2  
本体 ¥946[税込]





### 私たちの真実～アメリカン・ジャーニー～

カマラ・ハリス 著  
光文社

移民の娘として生まれたハリス。正義への情熱を隠すことなく成長し、地方検事補になると法執行機関における革新的な改革者として頭角を現し…。女性初、黒人初、インド系アメリカ人初の副大統領となったカマラ・ハリスの自伝。

2021:6./ 334p 図版  
32p

978-4-334-96248-7  
本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/11



### SF 思考～ビジネスと自分の未来を考えるスキル～

藤本敦也／宮本道人 著  
ダイヤモンド社

SF 的な思考法を駆使して、自分だけの「未来ストーリー」を生み出し、それをそれぞれのビジネスに接続していく。ビジネスパーソンが SF 思考を活用する手法と実例を紹介する。SF 作家 5 人の未来ストーリーも収録。

2021:7./ 10p,363p

978-4-478-11392-9  
本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/11



### アウトロー・オーシャン～海の「無法地帯」をゆく～<下>

イアン・アービナ 著  
白水社

「無法の大洋」では、密漁や乱獲、不法投棄のほか、奴隷労働、人身売買、虐待、殺人といった犯罪行為が長年にわたって放置されてきた。領海外で横行する違法・脱法行為の驚くべき実態を詳細に描いたノンフィクション。

2021:7./ 315p,23p

978-4-560-09838-7  
本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/11



### ケアのたましい～夫として、医師としての人間性の涵養～

アーサー・クラインマン 著  
福村出版

医師でハーバード大学教授であるアーサー・クラインマンが、認知症の妻の 10 年に亘る介護と、半世紀以上の医師としての経験から、ケアの本質と人生に最も大切なものを語る。

2021:8./ 10p,259p

978-4-571-24091-1  
本体 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/11



### マインドフルネス実践講義～マインドフルネス段階的トラウマセラピー(MB-POTT)～

大谷 彰 著  
金剛出版

フラッシュバックや身体症状などをもたらすトラウマからの回復を、マインドフルにケアする実践ガイド。PTSD 症状安定、トラウマ統合、日常生活の安定、ポスト・トラウマ成長という 4 段階プロセスの理論と方法を解説する。

2017:5./ 178p

978-4-7724-1555-2  
本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/11



### 世界最先端 8 社の大戦略～「デジタル×グリーン×エクイティ」の時代～

田中 道昭 著  
日経BP社

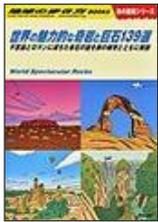
DX の勝者が次に目指すのは「脱炭素」と「公平・公正」。テスラ、アップル、セールスフォース、ウォルマート、マイクロソフト、ペロトン、アマゾン、DBS 銀行のグランドデザインを徹底解説。著者の講義も収録。

2021:6./ 349p

978-4-8222-8899-0  
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/11



**世界の魅力的な奇岩と巨石 139 選～不思議とロマンに満ちた岩石の謎を旅の雑学とともに解説～(地球の歩き方 BOOKS 旅の図鑑シリーズ W03)**

地球の歩き方編集室 編  
学研

ウルル-カタジュタ国立公園、グランドサークル…。「絶対に見に行きたい」奇岩絶景を旅のモデルプランとともに紹介。ほか、世界各地の奇岩・巨石の見どころや観光方法、アクセス等を掲載する。データ:2020年2月現在。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:3./ 207p  
978-4-05-801593-3  
本体 ¥1,760[税込]



**地球の歩き方 aruco 東京で楽しむ台湾**

地球の歩き方編集室 編  
学研

旅好き女子のためのプチぼうけん応援ガイド。グルメ、ショッピング、コスメ&マッサージ…。台湾を感じられる東京のスポットを紹介する。データ:2021年3~4月現在。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:7./ 127p  
978-4-05-801655-8  
本体 ¥1,430[税込]



**地球の歩き方 aruco 東京で楽しむ韓国**

地球の歩き方編集室 編  
学研

旅好き女子のためのプチぼうけん応援ガイド。グルメ、ショッピング、ビューティ、エンタメ…。韓国を感じられる東京のスポットを紹介する。データ:2021年3~5月現在。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:7./ 127p  
978-4-05-801656-5  
本体 ¥1,430[税込]



**地球の歩き方 aruco 東京で楽しむフランス**

地球の歩き方編集室 編  
学研

旅好き女子のためのプチぼうけん応援ガイド。グルメ、ショッピング、エリア別おさんぽプラン&アートのスポット…。フランスを感じられる東京のスポットを紹介する。データ:2021年3~5月現在。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:7./ 127p  
978-4-05-801657-2  
本体 ¥1,430[税込]



**アウトロー・オーシャン～海の「無法地帯」をゆく～<上>**

イアン・アービナ 著  
白水社

独立を宣言した海上要塞、公海上で行われる人工妊娠中絶、借金のかたに取られた船を回収するレポマンの活動…。領海外で横行する違法・脱法行為の驚くべき実態を詳細に描いたノンフィクション。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:7./ 295p,33p  
978-4-560-09837-0  
本体 ¥2,640[税込]



**明治の説得王・末松謙澄～言葉で日露戦争を勝利に導いた男～(インターナショナル新書 076)**

山口 諤司 著  
集英社インターナショナル

大日本帝国憲法、下関条約の締結文の草案等を書き、日露戦争では日英同盟の強化などにより日本の窮地を救った末松謙澄。彼は何を指し、何をしたのか。世界を舞台に活躍した謙澄が日本の国際化と近代化に果たした役割を辿る。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:6./ 253p  
978-4-7976-8076-8  
本体 ¥968[税込]



**世界のすごい巨像～巨仏・巨神・巨人。一度は訪れたい愛すべき巨大造形を解説～(地球の歩き方 BOOKS 旅の図鑑シリーズ W08)**

地球の歩き方編集室 編  
学研

世界のあちこちでさまざまな人々が色々な意図を持って立ち上げてきた、魅力的な巨像たちを紹介。像が立てられたいきさつ、具体的な見学方法、周辺の見どころなどを解説する。折り込みページあり。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:8./ 191p  
978-4-05-801665-7  
本体 ¥1,760[税込]



**すべてが武器になる～文化としての<戦争>と<軍事>～**

石川 明人 著  
創元社

武器とは何か、何が武器なのか? 武器と文化の不可分な関係を、あらゆる時代や事象から、面白くかつ説得的に述べる。新時代に必要とされる戦争論や軍事論の基礎的な知識を提供する、戦争文化論入門。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:7./ 230p  
978-4-422-30079-5  
本体 ¥2,200[税込]



**レジリエンス復活力～あらゆるシステムの破綻と回復を分けるものは何か～**

アンドリュー・ゾッリ、アン・マリー・ヒーラー、須川 綾子 著  
ダイヤモンド社

災害や大混乱によって破綻するシステムと安定を取り戻すシステムの違いは何か。急激な状況変化に適應できる組織や機関、システムはどうすれば構築できるのか。その答えを探る新しい研究分野「レジリエンス」について考察する。

日本経済新聞 2021/09/11

2013:2./ 12p,401p  
978-4-478-01233-8  
本体 ¥2,640[税込]



**日本の絶景ベストセレクト～最新版!～<2022-[3]> 日本で海外旅絶景(ASAHI ORIGINAL)**

朝日新聞出版 著  
朝日新聞出版

ヨーロッパ的カラフル絶景、オセアニア&ハワイ的ヒーリング絶景…。海外のような絶景が楽しめる日本各地のスポット112を紹介する。電子版を閲覧できるクーポンコード付き。データ:2021年7月現在。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:8./ 112p  
978-4-02-278326-4  
本体 ¥990[税込]



**靴子はすてきな役立たず(河出文庫 や17-8)**

山崎 ナオコーラ 著  
河出書房新社

経済的自立を目指し、高卒で銀行員になった小太郎。院卒で書店アルバイトの靴子は、結婚後、絵手紙や家庭菜園など、次々に趣味を楽しみ始める。人と比べず、自分の満足を大事にする靴子の世界に、小太郎も次第に惹かれ…。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:8./ 237p  
978-4-309-41835-3  
本体 ¥924[税込]



**孤独は社会問題～孤独対策先進国イギリスの取り組み～(光文社新書 1144)**

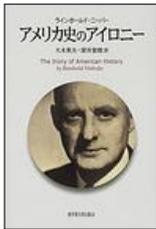
多賀幹子 著  
光文社

2018年、イギリスのメイ首相は世界初の「孤独担当大臣」を設けた。その設立経緯から、イギリス社会に根付く弱者への思いやり、チャリティー団体の細やかな目配り、英王室の役割までを紹介する。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:7./ 245p  
978-4-334-04552-4  
本体 ¥946[税込]





### アメリカ史のアイロニー

ラインホルド・ニーバー、大木 英夫、深井 智朗 著

聖学院大学出版会

ドイツ系アメリカ人の神学者、ラインホルド・ニーバーの二つの連続講演をまとめる。自らの国アメリカを鋭く分析して、そこに国家的内省の道を拓く。

日本経済新聞 2021/09/11

2002:6./ 306,4p

978-4-915832-44-4

本体 ¥4,180〔税込〕



### 悲しみとともにどう生きるか(集英社新書 1045)

入江 杏 編

柳田 邦男／若松 英輔／星野 智幸／東畑 開人／平野 啓一郎／島菌 進 著

集英社

喪失の苦しみは、共感と支え合いの中で「希望の物語」へと変容する。入江杏の呼びかけに、柳田邦男、若松英輔、平野啓一郎らが応え、自身の喪失体験や悲しみとの向き合い方などについて語る。講演をもとに新書化。

日本経済新聞 2021/09/11

2020:11./ 234p

978-4-08-721145-0

本体 ¥924〔税込〕



### 心経

閻 連科 著

河出書房新社

北京で最も有名な大学が創設した宗教研修センター。講義を受ける 18 歳の玉尼・雅慧は、崇高への憧れを抱きつつ、神と神、人と人、神と人との葛藤に巻き込まれていく…。光と闇が交差する宗教小説。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:7./ 355p

978-4-309-20833-6

本体 ¥3,960〔税込〕



### なぜ、インテリジェンスは必要なのか

小林 良樹 著

慶應義塾大学出版会

インテリジェンスに理論はあるのか? 実態はどうなっているのか? 外交、安全保障等の問題を的確に把握するためのリテラシーを身につけ、「インテリジェンス」の理論と実践的な問題のすべてを解き明かす。

日本経済新聞 2021/09/11

2021:6./ 10p,370p

978-4-7664-2752-3

本体 ¥2,970〔税込〕



### 清少納言を求めて、フィンランドから京都へ

ミア・カンキマキ 著

草思社

セイ、あなたと私は驚くほど似ている。遠い平安朝に生きた憧れの女性「セイ(清少納言)」を追いかけて、フィンランド人女性がヘルシンキから京都、ロンドン、プーケットを旅する長編エッセイ。

日本経済新聞 2021/09/11、東京・中日新聞 2021/09/12、朝日新聞 2021/09/25

2021:8./ 495p

978-4-7942-2528-3

本体 ¥2,200〔税込〕



**古寺巡礼 改版(岩波文庫 青 144-1)**和辻 哲郎 著  
岩波書店

大正七年の五月、二十代の和辻は唐招提寺・薬師寺・法隆寺・中宮寺など奈良付近の寺々に遊んださい、飛鳥・奈良の古建築・古美術に相対し、その印象を若さと情熱をこめて書きとめた。鋭く繊細な直観、自由な想像力の飛翔、東西両文化にわたる該博な知識が一体となった、みごとな美の世界がここにはある。(解説 谷川徹三)

1979:3./ 325p  
978-4-00-331441-8  
本体 ¥990〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**鎌倉殿と執権北条氏～義時はいかに朝廷を乗り越えたか～(NHK 出版新書 661)**坂井 孝一 著  
NHK出版

伊豆の地方豪族だった北条氏は、いかに流人時代の頼朝と出会い、熾烈な権力闘争の末に承久の乱を制したのか。幕府内の駆け引きや争いの一部始終と、複雑極まりない人間関係を、時政・政子・義時を軸に描きだす。

2021:9./ 270p  
978-4-14-088661-8  
本体 ¥1,023〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**舟を編む(光文社文庫 み 24-2)**三浦 しをん 著  
光文社

辞書編集部に異動した馬締は「大渡海」の編纂を始める。個性的すぎる仲間たち、問題山積みの編集部、ままならぬ恋…。愛すべき変人たちが恋に仕事に右往左往。「大渡海」は編み上がるのか?「馬締の恋文」も全文収録。

2015:3./ 347p  
978-4-334-76880-5  
本体 ¥682〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**妊娠・出産をめぐるスピリチュアリティ(集英社新書 1080)**橋迫 瑞穂 著  
集英社

近年、スピリチュアル市場で目立つ、「子宮系」「胎内記憶」「自然なお産」等の妊娠・出産をめぐるコンテンツ。「母」たる女性が抱く不安とスピリチュアリティとの危い関係について、その構造を解明する。

2021:8./ 220p  
978-4-08-721180-1  
本体 ¥946〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**THE LONELY CENTURY～なぜ私たちは「孤独」なのか～**リーナ・ハーツ 著  
ダイヤモンド社

テクノロジーによって誰かとつながることがこれまでに簡単になったのに、無数の人たちが一人ぼっちだと感じている。現在の分断と孤立と孤独を食い止めるアイデアや考え方、事例を紹介する。

2021:7./ 8p,310p,70p  
978-4-478-10863-5  
本体 ¥2,420〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18



### オリент東西の戦略史と現代経営論

三谷 宏治/守屋 淳 著

日本経済新聞出版社

始皇帝からGoogleまで、三谷宏治と守屋淳が古今東西の戦略・組織について語り合い、爆発的成長のカギ、スタートアップの巨人、組織と統治のあり方など、現代的ビジネステーマへの叢智を引き出す。

2021:6./ 360p

978-4-532-32408-7

本体 ¥2,200[税込]



日本経済新聞 2021/09/18



### 最後通牒ゲームの謎～進化心理学からみた行動ゲーム理論入門～

小林佳世子 著

日本評論社

見知らぬ人に、なぜ親切にしてしまうのか？ 自肅警察の心理とは？ なぜ人の目が気になるのか？ 最後通牒ゲームを題材に、進化心理学の考え方をを使い、「経済人」ではない人間行動の原理に迫る。

2021:6./ 6p,305p

978-4-535-55986-8

本体 ¥2,090[税込]



日本経済新聞 2021/09/18



### 友よ、水になれ～父ブルース・リーの哲学～

シャノン・リー 著

亜紀書房

自分はどんな人間か。どこへ向かうのか。何のために生きるのか…。ブルース・リーの娘が、父が32年の短い生涯を閉じるまで、その胸に問い、また信じ、全身全霊で実践してきた人生哲学を詳述する。

2021:7./ 327p

978-4-7505-1706-3

本体 ¥2,420[税込]



日本経済新聞 2021/09/18



### 銃・病原体・鉄～一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎～<下巻>(草思社文庫 741-2)

ジャレド・ダイヤモンド 著

草思社

世界史の勢力地図は侵略と淘汰が繰り返される中で幾度となく塗り替えられてきた。勝者と敗者を分けた要因とは、地域による差を生み出した真の要因とはなにか。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

2012:2./ 412p,18p

978-4-7942-1879-7

本体 ¥990[税込]



日本経済新聞 2021/09/18



### ネルソン・マンデラ～分断を超える現実主義者～(岩波新書 新赤版 1888)

堀内 隆行 著

岩波書店

アパルトヘイト撤廃に尽力し、1994年に南アフリカ共和国黒人初の大統領となったネルソン・マンデラ。偏狭な国家主義と分断が再び広がる時代に、想像を超える「和解」を成し遂げた、類まれな政治家の人生を改めて振り返る。

2021:7./ 13p,169p,9p

978-4-00-431888-0

本体 ¥880[税込]



日本経済新聞 2021/09/18



**博士の愛した数式(新潮文庫)**

小川 洋子 著  
新潮社

[ぼくの記憶は 80 分しかもたない]博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが留められていた。記憶力を失った博士にとって、私は常に“新しい”家政婦。博士は“初対面”の私に、靴のサイズや誕生日を尋ねた。数字が博士の言葉だった。やがて私の 10 歳の息子が加わり、ぎこちない日々は驚きと歓びに満ちたものになった。あまりに悲しく暖かい、奇跡の愛の物語。第 1 回本屋大賞受賞。

日本経済新聞 2021/09/18

2005:11./ 291p  
978-4-10-121523-5  
本体 ¥649〔税込〕



**こころの処方箋(新潮文庫)**

河合 隼雄 著  
新潮社

日本経済新聞 2021/09/18

1998:6./ 241p  
978-4-10-125224-7  
本体 ¥605〔税込〕



**恐竜学者は止まらない!〜読み解け、卵化石ミステリー〜**

田中 康平 著  
創元社

恐竜学者を目指して北の大地に旅立ち、大学院ではカナダに留学。恐竜の謎を追い求めモンゴル、中国、アメリカ、ウズベキスタンへ。恐竜の生き生きとした行動・生態を解き明かすべく奮闘し続ける日々を綴る。

日本経済新聞 2021/09/18

2021:8./ 406p  
978-4-422-43041-6  
本体 ¥1,980〔税込〕



**LIFE SHIFT〜100 年時代の人生戦略〜**

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著  
東洋経済新報社

多くの人々が 100 年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。世界で活躍するビジネス思想家たちが、成長至上の次に来る、新しいビジョンを示す。

日本経済新聞 2021/09/18

2016:10./ 399p,15p  
978-4-492-53387-1  
本体 ¥1,980〔税込〕



**未完の革命〜韓国民主主義の 100 年〜**

金 恵京 著  
明石書店

植民地からの独立、朝鮮戦争による荒廃、急激な経済発展、民主的な社会の建設...。韓国の歩みを、朴正熙・金大中・朴槿恵・文在寅という 4 人の大統領の人生を軸に追う。

日本経済新聞 2021/09/18

2021:7./ 250p  
978-4-7503-5218-3  
本体 ¥2,420〔税込〕



**銃・病原菌・鉄〜一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎〜<上巻>(草思社文庫 741-1)**

ジャレド・ダイヤモンド 著  
草思社

アメリカ大陸の先住民はなぜ、旧大陸の住民に征服されたのか。世界に広がる富とパワーの「地域格差」を生み出したものとは。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

日本経済新聞 2021/09/18

2012:2./ 395p,17p  
978-4-7942-1878-0  
本体 ¥990〔税込〕



**きれはし(ele-king books)**ヒコロヒー 著  
Pヴァイン

いま最も注目されている女性芸人、ヒコロヒーによる初のエッセイ集！ ゴッドタン出演、R-1 準決勝進出、ラジオの冠番組スタートなど、本業の芸人としてもブレイク直前。日常の何気ない疑問を独自のセンスで深堀りする note の記事もネットで話題になっている彼女の魅力が詰まった一冊です。

2021:9./ 160p  
978-4-910511-00-9  
本体 ¥1,628〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**狩りの時代(文春文庫 つ15-2)**津島 佑子 著  
文藝春秋

ダウン症だった兄との思い出。ヒトラー・ユーゲントの来日。老核物理学者の見果てぬ夢。絵美子と母を気遣う、大勢のおじ・おばたち…。大家族の物語はこの国の未来を照射する。逝去直前まで推敲を重ねた津島文学の到達点。

2021:9./ 331p  
978-4-16-791753-1  
本体 ¥902〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**両利きの経営～「二兎を追う」戦略が未来を切り拓く～**チャールズ・A.オライリー、マイケル・L.タッシュマン、入山 章栄、富山 和彦、渡部典子 著  
東洋経済新報社

「知の探索」と「知の深化」を行えている企業ほど、イノベーションが起き、パフォーマンスが高くなる。成熟した大企業・中堅企業に向けた最強戦略「両利きの経営」理論を、豊富な事例をもとに解説する。

2019:2./ 395p,16p  
978-4-492-53408-3  
本体 ¥2,640〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**アンチレイシストであるためには(&books)**イブラム・X・ケンディ 著  
辰巳出版

アメリカ社会に蔓延るレイシズム(人種主義)の構造や本質を、著者みずからの体験を織り交ぜながら解き明かす。さまざまな差別について深く考え、改善していくための指針となるガイドブック。

2021:6./ 381p  
978-4-7778-2773-2  
本体 ¥2,420〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18

**鷹將軍と鶴の味噌汁～江戸の鳥の美食学～(講談社選書メチエ 753)**菅 豊 著  
講談社

味噌仕立ての鶴の汁、白鳥のゆで鳥、雉子の刺身…。江戸人は、現代よりもずっと美味しく様々な鳥を食べていた。現代人は、なぜこの味覚を捨ててしまったのか。生産・流通から調理法まで、失われた食文化の全体像を描き出す。

2021:8./ 285p  
978-4-06-524587-3  
本体 ¥1,980〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/18、産経新聞 2021/09/19

**ヒトの言葉機械の言葉～「人工知能と話す」以前の言語学～(角川新書 K-339)**川添 愛 著  
KADOKAWA

AIと普通に話せる日はくるのか。人工知能と向き合う前に心がけるべきことは何か。私たちは「言葉の意味とは何か」を理解しているのか。AIが発達しつつある今、言葉とは何かを問い直し、言葉の不思議と未解決の謎に迫る。

2020:11./ 254p  
978-4-04-082348-5  
本体 ¥990〔税込〕

日本経済新聞 2021/09/25



### 文豪たちの友情(新潮文庫 い-141-1)

石井 千湖 著

新潮社

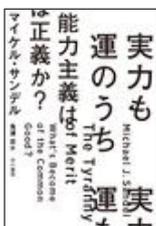
佐藤春夫と堀口大學は仲良しすぎて男色関係を疑われた？ 室生犀星と萩原朔太郎の出会い是最悪だった？ 国木田独歩と田山花袋は同居していてもケンカばかり？ ややこしくて美しい、文豪たちの友情を紹介する。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:9./ 312p

978-4-10-103161-3

本体 ¥649〔税込〕



### 実力も運のうち～能力主義は正義か？～

マイケル・サンデル 著

早川書房

努力と才能で、人は誰でも成功できる-能力主義の夢は残酷な自己責任論と表裏一体であり、勝者と敗者の間に未曾有の分断をもたらしている。この難題に解決策はあるのか？ ハーバード大学哲学教授が能力主義の闇を暴く。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:4./ 376p

978-4-15-210016-0

本体 ¥2,420〔税込〕



### 20世紀のグローバル・ヒストリー～大人のための現代史入門～

北村 厚 著

ミネルヴァ書房

高校歴史教科書の知識をベースに、20世紀の世界史をグローバル・ヒストリーの視点で再構成し、世界中の人類的な出来事を結びつけて叙述する新しい通史。2018年刊「教養のグローバル・ヒストリー」の続編。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:9./

20p,361p,12p

978-4-623-09130-0

本体 ¥3,080〔税込〕



### みんなの現代アート～大衆に媚を売る方法、あるいはアートがアートであるために～

グレイソン・ペリー／ミヤギフトシ 著

フィルムアート社

「良い」アートって何？ どう鑑賞すればいいの？ アーティストとして生きるには？ 大衆の人気、権威たちの評価、マーケット論理などが渦巻く現代のアートワールドを、ターナー賞アーティストがユーモアたっぷりに案内する。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:8./ 182p

978-4-8459-2014-3

本体 ¥1,980〔税込〕



### 言語学パーリトワード<Round1> AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか

川添 愛 著

東京大学出版会

ラッシャー木村の「こんばんは」になぜファンはズッコケたのか。AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか。日常にある言語学的话题を、ユーモアあふれる巧みな文章で綴る。『UP』連載に書き下ろしを加え書籍化。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:7./ 5p,210p

978-4-13-084101-6

本体 ¥1,870〔税込〕



### 夢見る帝国図書館

中島 京子 著

文藝春秋

友人から依頼された「日本で最初の国立図書館の小説」を綴りながら、涙もろい大学教授や飄々たる元藝大生らと共に思い出をたどり、友人の人生と幻の絵本の謎を追い…。本を愛した人々の物語。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

日本経済新聞 2021/09/25

2019:5./ 404p

978-4-16-391020-8

本体 ¥2,035〔税込〕





### 小さいうち(文春文庫 な 68-1)

中島 京子 著  
文藝春秋

昭和 10 年に建った、赤い屋根の洋風住宅。若く美しい時子奥様と一家につかえた女中・タキの日々。懐かしい記憶とある恋愛事件の秘密を綴ったタキのノートは思わぬかたちで現代へとつながり…。巻末に船曳由美との対談も収録。

日本経済新聞 2021/09/25

2012:12./ 348p  
978-4-16-784901-6  
本体 ¥715〔税込〕



### においが心を動かす〜ヒトは嗅覚の動物である〜

A・S・バーウィッチ 著  
河出書房新社

鼻は脳に何を伝え、脳はどうやってそれを理解するのか。この未解決の神経科学の謎を巡る、哲学と歴史の旅に誘う本。におい知覚に関する現在の考え方についての疑念と欠けている知識を突き止め、驚異の感覚世界を明らかにする。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:7./ 339p,34p  
978-4-309-25430-2  
本体 ¥3,135〔税込〕



### 第三の支柱〜コミュニティ再生の経済学〜

ラグラム・ラジャン 著  
みすず書房

社会を支える 3 本の支柱<市場><国家><コミュニティ>。この不均衡への処方箋をコミュニティ再生に見いだした経済学者が、包摂的ローカリズムを提案する。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:7./  
32p,480p,38p  
978-4-622-08994-0  
本体 ¥3,960〔税込〕



### 赤い魚の夫婦

グアダルーペ・ネットレル 著  
現代書館

夫婦、社会格差、浮気などをめぐる登場人物たちの微細な心の揺れや、理性や意識の鎧の下にある密やかな部分を、人間と共にいる生き物を介してあぶりだす短編小説集。表題作ほか、「牝猫」「北京の蛇」など全 5 編を収録する。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:8./ 157p  
978-4-7684-5905-8  
本体 ¥2,200〔税込〕



### Instagram〜野望の果ての真実〜

サラ・フライヤー 著  
ニューズピックス

親会社 Facebook とザッカーバーグの妨害や社内政治により、Instagramの内部はカオスに満ちている。創業者 2 人はケタ外れの重圧にどう立ち向かったのか、その舞台裏に迫る。日本語版解説が読める QR コード付き。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:7./ 461p  
978-4-910063-18-8  
本体 ¥2,640〔税込〕



### 異文化コミュニケーション学(岩波新書 新赤版 1887)

鳥飼 玖美子 著  
岩波書店

様々な異なる文化の人とともに暮らすことが日常となっている現在。先達の研究を踏まえつつ、数多くの海外ドラマ・映画の台詞などからコミュニケーション、言葉を改めて問い直し、映像作品を活用しての異文化学習を提案する。

日本経済新聞 2021/09/25

2021:7./ 14p,243p  
978-4-00-431887-3  
本体 ¥924〔税込〕





### 沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う

山船 晃太郎 著  
新潮社

イタリアのドブ川で超レア古代船を掘り出し、ギリシャの離島で水深 60m の沈没船の記録作業をし、コスタリカでは地元で「海賊船」と噂される船の正体を推理…。水中考古学者が、発掘現場のリアルを紹介する。

2021:7./ 220p  
978-4-10-354191-2  
本体 ¥1,595〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/25



### 潜入・ゴミ屋敷～孤立社会が生む新しい病～(中公新書ラクレ 733)

笹井 恵里子 著  
中央公論新社

整理清掃業者として働いた著者が、ゴミの中で亡くなった人の壮絶現場や、ゴミ屋敷の住人と作業員がともに片付けていく様子をレポート。ゴミ屋敷に陥る背景の病やその治療なども綴る。『プレジデントオンライン』連載を書籍化。

2021:7./ 206p  
978-4-12-150733-4  
本体 ¥902〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/25



### 次世代モビリティの経済学～マーケットデザインによる制度設計～

高原 勇／栗野 盛光 著  
日本経済新聞出版社

次世代モビリティに関わる市場をどのようにデザインすればよいのか。自動車エンジニアと気鋭の経済学者が、次世代モビリティ市場のデザインに有用と考える理論的枠組みを提供する。

2021:6./ 11p,226p  
978-4-532-13496-9  
本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/25



### プロジェクト・ファザーフード～アメリカで最も凶悪な街で「父」になること～

ジョルジャ・リープ 著  
晶文社

アメリカで最も凶悪な街・ワッツ。父を知らずに育った男たちは、「プロジェクト・ファザーフード」というプログラムを通じて、親の役割にまつわる問題について考え…。貧困、差別、暴力を超えて繋がる男たちのドキュメント。

2021:7./ 420p  
978-4-7949-7273-6  
本体 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/25



### ふだん使いの言語学～「ことばの基礎力」を鍛えるヒント～(新潮選書)

川添 愛 著  
新潮社

言いたいことがうまく言えない、思うように伝わらない…。頭の中の<無意識の言語知識>を明らかにする理論言語学の知見を使い、単語の多義性や曖昧性、意味解釈の広がり方や狭まり方、文脈や背景との関係を身近な例から解説。

2021:1./ 235p  
978-4-10-603862-4  
本体 ¥1,595〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/25



### 行動経済学(サクッとわかるビジネス教養)

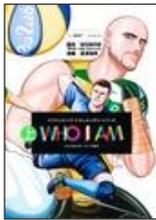
新星出版社

反対意見を受け入れられないのはなぜ? 安くはないのに安いと感じるわけは? 行動経済学の考え方や意思決定の仕組みを、イラストでわかりやすく解説。マーケティングに活用した事例や、ビジネスで役立つ応用法も紹介する。

2021:3./ 167p  
978-4-405-12011-2  
本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/09/25



### WHO I AM 上 —これが自分だ!という輝き—(ヤングジャンプコミックス)

富澤 浩気/WOWOW『WHO I AM』プロジェクト 著  
集英社

これがパラスポーツの最前線!! 世界最高峰のパラスリートたちに迫るスポーツ  
キュメンタリーシリーズ『WHO I AM—これが自分だ!という輝き—』公式コミカライズ!  
競技者たちの知られざる苦悩と挑戦に迫る! 上巻は、ライリー・バット編とサフェト・ア  
リバシッチ編の2編収録。

毎日新聞 2021/09/04

2021:8./ 208p

978-4-08-891625-5

本体 ¥660〔税込〕



### 闇の左手(ハヤカワ文庫 SF 252)

アーシュラ・K・ル・グイン 著

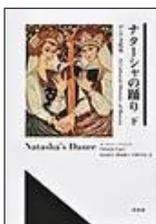
早川書房

毎日新聞 2021/09/04

1981:1./ 379p

978-4-15-010252-4

本体 ¥968〔税込〕



### ナターシャの踊り~ロシア文化史~<下>

オーランドー・ファイジズ 著

白水社

ピョートルによる近代化、ナポレオン戦争、レーニンによる革命、スターリン体制そし  
て雪どけ…。数々の大転換を経てもなお、脈々と続く「ロシア」を支えるその壮大な  
文化史をひもとく。

毎日新聞 2021/09/04

2021:8./ 431p,77p

978-4-560-09854-7

本体 ¥5,500〔税込〕



### 夢中になれる小児病棟~子どもとアーティストが出会ったら~

松本 恵里 著

英治出版

孤独や未来への不安、治療の緊張感の中で、「患者ではない時間」が生み出したも  
のとは? アーティストと一緒に定期的に病院を訪問して、病気や障がいがある子  
どもにアートを届ける NPO の活動を紹介。

毎日新聞 2021/09/04

2021:6./ 196p

978-4-86276-290-0

本体 ¥1,760〔税込〕



### ボクんち事故物件(BAMBOO ESSAY SELECTION)

宮本 ぐみ、松原 タニシ 著

竹書房

毎日新聞 2021/09/04

2019:6./ 129p

978-4-8019-1925-9

本体 ¥1,100〔税込〕



### ナターシャの踊り~ロシア文化史~<上>

オーランドー・ファイジズ 著

白水社

「戦争と平和」の貴族の令嬢ナターシャは、なぜ農民の踊りを踊ってしまうのか。文  
学、音楽、美術、演劇、バレエから、食や入浴文化まで、「ロシア」を支えるその壮大  
な文化史をひもとく。

毎日新聞 2021/09/04

2021:8./ 411p,56p 図

版 12p

978-4-560-09839-4

本体 ¥5,280〔税込〕





**戦国大名・伊勢宗瑞(角川選書 624)**

黒田 基樹 著  
KADOKAWA

「北条早雲」の名で知られ、「大器晩成の典型」等と評されてきた後北条氏の初代・伊勢宗瑞。最新の研究成果をもとに、新しい政治権力となる「戦国大名」がいかになして構築されたのかを明らかにしつつ、伊勢宗瑞の全体像を描く。

毎日新聞 2021/09/04

2019:8./ 264p  
978-4-04-703683-3  
本体 ¥1,870〔税込〕



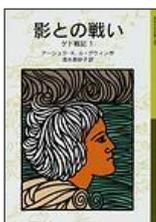
**自由研究には向かない殺人(創元推理文庫 Mシ 17-1)**

ホリー・ジャクソン 著  
東京創元社

高校生のピップは自由研究で、自分の住む町で起きた 17 歳の少女の失踪事件を調べている。犯人とされている少年と親しかったピップは彼の無実を証明するため、自由研究を口実に関係者にインタビューするが...

毎日新聞 2021/09/04

2021:8./ 581p  
978-4-488-13505-8  
本体 ¥1,540〔税込〕



**ゲド戦記<1> 影との戦い(岩波少年文庫 588)**

アーシュラ・K. ル=グウィン 著  
岩波書店

少年ゲドは、自分に並はずれた力がそなわっているのを知り、真の魔法を学ぶためロックの学院に入る。進歩が早く、得意になったゲドは、禁じられた魔法で自らの「影」を呼び出し…。アースシー世界の光と闇を描く壮大な物語。

毎日新聞 2021/09/04

2009:1./ 318p  
978-4-00-114588-5  
本体 ¥792〔税込〕



**WHO I AM 下 —これが自分だ!という輝き—(ヤングジャンプコミックス)**

富澤 浩気/WOWOW『WHO I AM』プロジェクト 著  
集英社

これがパラスポーツの最前線!! 世界最高峰のパラアスリートたちに迫るスポーツドキュメンタリーシリーズ『WHO I AM—これが自分だ!という輝き—』公式コミカライズ! 競技者たちの知られざる苦悩と挑戦に迫る! 上巻は、ライリー・バット編とサフェト・アリバシッチ編の2編収録。

毎日新聞 2021/09/04

2021:8./ 216p  
978-4-08-891626-2  
本体 ¥693〔税込〕



**新九郎、奔る!<1>(BIG SPIRITS COMICS SPECIAL)**

ゆうき まさみ 著  
小学館

毎日新聞 2021/09/04

2018:8./ 209p  
978-4-09-860001-4  
本体 ¥693〔税込〕



**ストックホルムの旭日~文明としてのオリンピックと明治日本~(中公選書 119)**

牛村 圭 著  
中央公論新社

明治日本は陸上競技という文明をどう受容したのか。漱石「三四郎」や嘉納治五郎の欧米視察記、陸上競技の画期的指導書や写真を精読し、国と国とが同じルールで競い合う近代五輪にふたりの若きアスリートが参加するまでを追う。

毎日新聞 2021/09/04

2021:7./ 374p  
978-4-12-110119-8  
本体 ¥2,200〔税込〕





**綿の国星<第1巻> シルク・ムーン プチ・ロード(白泉社文庫)**

大島 弓子 著  
白泉社  
毎日新聞 2021/09/04

1994:6./ 270p  
978-4-592-88061-5  
本体 ¥649〔税込〕



**小島**

小山田 浩子 著  
新潮社  
当たり前前の風景、繰り返される日々の営み。それがたしかに世界をかすかに震わせる。さまざまな場所で出会う何気ない出来事をつぶさに描いた中短篇の他、広島カープと広島の人々の特別な関わりをテーマにした奇談連作も収録。

2021:4./ 345p  
978-4-10-333644-0  
本体 ¥2,090〔税込〕

毎日新聞 2021/09/04



**道化むさぼる揚羽の夢の**

金子 薫 著  
新潮社  
蛹に拘束され、羽化=自由を夢見る男。不条理から逃れるため、命懸けで道化を演じるが、。苛酷な世界で本当に必要なものは何か。そこで人はどう生き延びるのか。現実と響きあうディストピア小説。『新潮』掲載を単行本化。

2021:7./ 198p  
978-4-10-354171-4  
本体 ¥1,980〔税込〕

毎日新聞 2021/09/04



**昭和陸軍七つの転換点(祥伝社新書 635)**

川田 稔 著  
祥伝社  
なぜ、日本は戦争へと突き進んだのか。柳条湖事件、二・二六事件、盧溝橋事件など、昭和戦前期の七つの事件や事例を取り上げ、その背後にある陸軍の思想・戦略を検討することで、日米開戦に至る道筋を明らかにする。

2021:8./ 268p  
978-4-396-11635-4  
本体 ¥990〔税込〕

毎日新聞 2021/09/04



**時給はいつも最低賃金、これって私のせいですか?国会議員に聞いてみた。**

和田静香、小川淳也 著  
左右社  
息が詰まるほど不安で苦しい生活が続くのは「私のせい」？ 私の不安は日本の不安！ 国会議員・小川淳也に、相撲・音楽ライターの和田静香が、生きづらさの原因を直接ぶつけた建前なしの政治問答。政治問答ブックリスト付き。

2021:9./ 279p  
978-4-86528-045-6  
本体 ¥1,870〔税込〕

毎日新聞 2021/09/04



**吾輩ターボのチャンポン日記～長崎出身の庶民派弁護士と愛するワンコの日々是好日～(コミュニティ・ブックス)**

玉木 賢明 著  
日本地域社会研究所  
政治、環境、夫婦関係から近所づきあいまで。郷土料理「チャンポン」のように何でもありのてんこ盛りの日々の出来事を、愛犬がおもしろおかしく語る形式で綴る。

2021:6./ 123p  
978-4-89022-264-3  
本体 ¥1,485〔税込〕

毎日新聞 2021/09/04



### 文体の舵をとれ〜ル=グウィンル=グウィンの小説教室〜

アーシュラ・K.ル=グウィン、大久保 ゆう 著  
フィルムアート社

言葉のひびき、声と視点、リズム、詰め込みと跳躍…。文章の名手が、創作に必要な語りの技法を明かした執筆ワークショップをまとめる。キプリング、トウェイン、ブロンテなどの文芸作品を引きながら、文体の妙味を解説する。

2021:8./ 253p  
978-4-8459-2033-4  
本体 ¥2,200[税込]



毎日新聞 2021/09/04、産経新聞 2021/09/26



### 活劇映画と家族(講談社現代新書 2626)

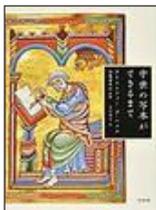
筒井 康隆 著  
講談社

母親に支配される凶悪なギャングの親分、家族の生活を助けるため自ら悪の世界に踏み込む男…。小説界の巨人が名作映画の魅力と家族の「悪」、疑似家族の絆などを絶妙な筆致で描き、「家族とは何か」を問う。

2021:7./ 163p  
978-4-06-524550-7  
本体 ¥924[税込]



毎日新聞 2021/09/11



### 中世の写本ができるまで

クリストファー・デ・ハメル 著  
白水社

中世の修道士はどうやって羽根ペンを握っていたのか？ 書き間違えたらどう対処したのか？ 中世写本の制作にまつわる実践的技法の数々を、オックスフォード大学ボドリアン図書館所蔵の写本のカラー図版 79 点とともに解説。

2021:7./ 196p,8p  
978-4-560-09845-5  
本体 ¥4,950[税込]



毎日新聞 2021/09/11



### 『失われた時を求めて』への招待(岩波新書 新赤版 1884)

吉川 一義 著  
岩波書店

不世出の大長篇「失われた時を求めて」は、なにを、どのように語った作品なのか。同書の完訳を達成したブルースト研究の第一人者が全体の構成、特長、勘所を読み解き、作品の核心に迫る。魅惑の読書体験へといざなう一冊。

2021:6./  
16p,237p,29p  
978-4-00-431884-2  
本体 ¥968[税込]



毎日新聞 2021/09/11



### 失われた時を求めて<1> スワン家のほうへ(1)(岩波文庫 赤版)

ブルースト 著  
岩波書店

ひとかけらのマドレーヌを口にしたとたん襲われる戦慄。「この飲みは、どこからやって来たのだろうか？」日本の水中花のように芯ひらく想い出ーサンザシの香り、鐘の音、コンブレーでの幼い日々。ブルースト研究で仏アカデミー学術大賞受賞の第一人者が精確清新な訳文でいざなう、重層する世界の深み。当時の図版を多数収録。

2010:11./ 463p,4p  
978-4-00-375109-1  
本体 ¥990[税込]



毎日新聞 2021/09/11



### しない。(集英社文庫 む 3-15)

群 ようこ 著  
集英社

トラブルが頻繁に起こるようになった「通販」、一度も持ったことがない「携帯電話」、悩みだらけの「化粧」、昔から熱意が持てなかった「結婚」…。心地よい生活のために見つけた“しないこと”。ラクに暮らすヒントが満載。

2021:7./ 190p  
978-4-08-744272-4  
本体 ¥550[税込]



毎日新聞 2021/09/11



**あなたを閉じこめる「ずるい言葉」～10代から知っておきたい～**

森山至貴 著  
WAVE出版

「あなたのためを思って」「悪気はないんだから」…。 “カクレ悪意”や“カンチガイ善意”を見抜け！ 大人より弱い立場にある子どもが、「ずるい言葉」にだまされないようにするためのヒントを伝える。

2020:8./ 208p  
978-4-86621-303-3  
本体 ¥1,540[税込]

毎日新聞 2021/09/11



**さっぽろ燐寸ラベルグラフィティ～今ここに、甦る懐かしき昭和～**

和田 由美 編  
上ヶ島 オサム 著  
亜璃西社

燐寸が伝える、昭和の息吹-。燐寸ラベルコレクターのコレクションから選りすぐった、大正期～昭和 30 年代の札幌の燐寸ラベル約 1200 枚を、「喫茶店」「食べ処」などジャンル別に収録。

2021:8./ 165p  
978-4-906740-48-2  
本体 ¥2,200[税込]

毎日新聞 2021/09/11



**鉄道無常～内田百間と宮脇俊三を読む～**

酒井 順子 著  
KADOKAWA

鉄道には、俗世とは切り離された時間が流れている-。変わり続ける車窓風景に人生と日本を見た、鉄道紀行界のふたりの巨星、内田百間と宮脇俊三の軌道を追う。『本の旅人』『カドブンノベル』掲載を単行本化。

2021:5./ 235p  
978-4-04-110989-2  
本体 ¥1,650[税込]

毎日新聞 2021/09/11



**テアトロン～社会と演劇をつなぐもの～**

高山 明 著  
河出書房新社

演劇を拡張し、社会と芸術表現との接続を追求する演出家・高山明が放つ、現代・社会・演劇論。「J アート・コウルセンター」について演劇的に考察するほか、舞台「ザ・マン・フー」、ギリシア悲劇、ワーグナーなどを論じる。

2021:7./ 264p  
978-4-309-25672-6  
本体 ¥3,135[税込]

毎日新聞 2021/09/11



**姫君を喰う話～宇能鴻一郎傑作短編集～(新潮文庫 う-28-1)**

宇能 鴻一郎 著  
新潮社

煙と客が充満するモツ焼き屋で、隣席の男が語り出し…。戦慄の表題作をはじめ、巨鯨と人間の命のやりとりを描いた芥川賞受賞作「鯨神」、すらりとした小麦色の脚が意外な結末を呼ぶ「花魁小桜の足」など、全 6 編を収録する。

2021:8./ 373p  
978-4-10-103051-7  
本体 ¥737[税込]

毎日新聞 2021/09/11



**アメリカを作った思想～五〇〇年の歴史～(ちくま学芸文庫 ラ12-1)**

ジェニファー・ラトナー＝ローゼンハーゲン 著  
筑摩書房

アメリカは、ヨーロッパの探検者たちが「新世界」に投影した一群の諸観念であった。それらはいかにして合衆国を築き、どのような運動を生み出していったか。アメリカ史に作用した観念の力を概説する、アメリカ思想史入門。

2021:7./ 374p  
978-4-480-51064-8  
本体 ¥1,430[税込]

毎日新聞 2021/09/11



**藤原仲麻呂～古代王権を動かした異能の政治家～(中公新書 2648)**

仁藤 敦史 著  
中央公論新社

古代王権が安定した奈良時代に現れた異能の権力者・藤原仲麻呂。表面的な官歴や政策、事件史だけでなく、その政治的理念にまで立ち入り、皇位篡奪をも目論んだ生涯について、近年の研究を踏まえ新たな観点から記述する。

2021:6./ 4p,258p  
978-4-12-102648-4  
本体 ¥946〔税込〕



毎日新聞 2021/09/18



**演劇で<世界>を変える～鈴木忠志論～**

菅孝行 著  
航思社

「世界水準」に達している日本の演出家は、鈴木忠志だけだ。同世代の評論家・劇作家として併走してきた著者が、鈴木忠志のこれまでの活動と独創的な作品を時代背景とともに精緻に分析。『テアトロ』連載に加筆して単行本化。

2021:9./ 300p  
978-4-906738-45-8  
本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/09/18



**里山危機～フォト・レポート～(岩波ブックレット No.1049)**

永幡 嘉之 著  
岩波書店

栗林に群生するカタクリ、斎藤茂吉の好んだオキナグサ…。失われようとしている里山の生物多様性。長年、東北の地を調査してきた著者が里山を再定義。民族知としての文化の重要性を語る。写真も多数掲載。

2021:8./ 77p,2p  
978-4-00-271049-5  
本体 ¥979〔税込〕



毎日新聞 2021/09/18



**夢を見るとき脳は～睡眠と夢の謎に迫る科学～**

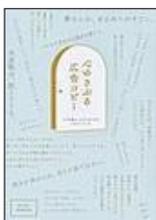
アントニオ・ザドラ、ロバート・スティックゴールド 著  
紀伊國屋書店出版部

夢とは何か、どこから来て、どんな意味や目的があるのか。睡眠と夢を長年研究してきた著者らが、自身で構築した NEXTUP モデルをもとに、人間が夢を必要とする理由を明かし、新たな角度から夢の正体に挑む。

2021:9./ 333p  
978-4-314-01186-0  
本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/09/18



**心ゆさぶる広告コピー～その言葉は、あなたの人生とつながっている～**

岩崎亜矢／安藤隆 著  
パイインターナショナル

テレビやウェブなど、生活の中にいつも身近にある広告コピーは、人生を変えてしまうほどの名言で溢れている。共感できて思わず心がゆさぶられる作品を「わくわく」「うるっと」など感情別に紹介する。

2021:6./ 223p  
978-4-7562-5452-8  
本体 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2021/09/18



**香港世界(河出文庫 や 42-1)**

山口 文憲 著  
河出書房新社

英国統治下、自由でエネルギーな発展を遂げた香港。ネオン輝く看板建築や街市から、飲茶や叉焼飯など庶民の味、映画、スター・フェリー、人々の死生観までを生き生きと描き、旅行者のバイブルとなった路上エッセイの名著。

2021:8./ 298p  
978-4-309-41836-0  
本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/09/18



**すべてはタモリ、たけし、さんまから始まった(ちくま新書 1586)**

太田 省一 著  
筑摩書房

80年代「漫才ブーム」から「お笑い第7世代」の台頭まで。今なお中心的存在で在り続けるタモリ、たけし、さんまの「お笑いビッグ3」を軸に、日本社会の「笑い」の変容を鋭く描き出す。

毎日新聞 2021/09/18

2021:7./ 277p  
978-4-480-07413-3  
本体 ¥968〔税込〕



**魚社会**

panpanya 著  
白泉社

「樂園」からの7冊目のpanpanya作品集。表題作はじめ「カステラ風蒸しケーキ物語」続編全5本計40p、「外れる季節」「標」「鯛焼き遍歴」「おみやげの心得」等、著者ならではの世界が展開する20篇。日記も併収。2021年7月刊

毎日新聞 2021/09/18

2021:7./ 176p  
978-4-592-71188-9  
本体 ¥1,078〔税込〕



**目の見えない白鳥さんとアートを見にいこう**

川内 有緒 著  
集英社インターナショナル

アートの意味、生きること、障害を持つこと。全盲の白鳥さんと会話しながらアートを見ると、全く別の世界が見えてきて…。集英社クオーターリー『kotoba』連載を加筆し書籍化。テキストデータ申し込み用QRコード付き。

毎日新聞 2021/09/18

2021:9./ 335p  
978-4-7976-7399-9  
本体 ¥2,310〔税込〕



**文明開化に抵抗した男 佐田介石～1818-1882～**

春名 徹 著  
藤原書店

仏教的天動説や自給自足論、「ランプ亡国論」を唱導した、幕末・維新期の僧侶にして思想家の佐田介石。文明開化に抵抗した彼の生涯と言動を通じ、圧倒的な西洋化に蹂躪される近代日本の苦闘を裏面から照射する。

毎日新聞 2021/09/18

2021:8./ 479p  
978-4-86578-320-9  
本体 ¥4,840〔税込〕



**日本の世界文化遺産～写真が語る日本の歴史～**

クレヴィス

日本の風土・文化をテーマに撮影を続け、日本の写真界に大きな足跡を残す17人の写真家たちの名作120点を収録。世界に誇る日本の文化遺産の魅力・独自性を紹介する。

毎日新聞 2021/09/18

2021:8./ 175p  
978-4-909532-64-0  
本体 ¥2,200〔税込〕



**新しい日々～芝木好子小説集～**

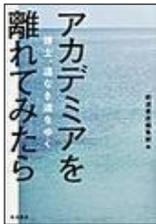
芝木 好子 著  
書肆汽水城

父親に反抗して家出し、札幌から東京へやってきた百合。染色工場に住み込みで働き始めるが、ある日、母親が訪ねてきて…。表題作をはじめ、全8編を収録。解説の小冊子付き。

毎日新聞 2021/09/18

2021:8./ 269p  
978-4-9908899-5-1  
本体 ¥2,200〔税込〕





### アカデミアを離れてみたら～博士、道なき道をゆく～

岩波書店編集部 著  
岩波書店

大学などの学術界から「外」に出た博士たちは、どう生きているのか。研究は、その後活かされているのか。企業の研究職から官僚、指揮者まで、主に理系の博士号取得者たち 21 人が語る。岩波書店のウェブ連載を基に書籍化。

2021:8./ 7p,238p  
978-4-00-061483-2  
本体 ¥2,200[税込]



毎日新聞 2021/09/18、朝日新聞 2021/09/25



### これはただの夏

燃え殻 著  
新潮社

周囲にあわせることや子どもが苦手な、なんとなく独身のまま、テレビ制作会社の仕事に忙殺されながら生きてきてしまった「ボク」。そして、ひよんなことから小学生の明菜の面倒をみることに...

2021:7./ 208p  
978-4-10-351012-3  
本体 ¥1,595[税込]



毎日新聞 2021/09/25



### 地獄絵の日本史～カラー版～(宝島社新書 614)

末木 文美士、小栗栖 健治、ほか 著  
宝島社

日本人は何を恐れ、何に救いを求めてきたのか? 「六道絵」「地獄草紙」といった中世に描かれた絵画をもとに、地獄の実相を解説。多くの日本人が地獄の概念を理解した「熊野観心十界曼荼羅」といった地獄極楽図も紹介する。

2021:7./ 221p  
978-4-299-01871-7  
本体 ¥1,320[税込]



毎日新聞 2021/09/25



### アフリカからアートを売り込む～企業×研究～

柳沢史明／緒方しらべ 著  
水声社

「アフリカからアートを売り込む」という主題をめぐる、企業と研究におけるそれぞれの視点から、アートを紡ぐ人々のつながりを詳らかにし、西洋中心的な美術観を問い直す。執筆者及び編者らによる座談会も収録。

2021:6./ 239p  
978-4-8010-0582-2  
本体 ¥3,300[税込]



毎日新聞 2021/09/25



### アジアの伝統染織と民族服飾～豊穡なる生活造形の世界～

道明三保子 著  
あっぷる出版社

人々はどうのように素材を利用し、その地の風土と文化環境に合った染織・服飾を作り上げてきたのか。現地のフィールド調査、博物館における実物資料の分析、文献の渉猟を進めてきた、アジアの染織・服飾文化研究の集大成。

2021:5./ 303p  
978-4-87177-356-0  
本体 ¥3,300[税込]



毎日新聞 2021/09/25



### ドリトル先生アフリカへ行く～新訳～(角川文庫 口 17-1)

ヒュー・ロフティン グ 著  
KADOKAWA

ドリトル先生は動物のことが話せるお医者さん。ジャングルのサルの中で伝染病が広がっていると聞き、アフリカへと向かいますが…。かわいい挿絵と河合祥一郎による新訳で楽しめるドリトル先生の冒険第 1 弾。

2020:2./ 167p  
978-4-04-108789-3  
本体 ¥484[税込]



毎日新聞 2021/09/25



### 九十八歳。戦いやまず日は暮れず

佐藤 愛子 著  
小学館

「戦いすんで日が暮れて」から 52 年。いまだ戦いやまず日は暮れず…。 「算数バカの冒険」「小さなマスク」「釈然としない話」など、愛子節がたっぷりのエッセイを全 21 編収録。『女性セブン』連載を書籍化。

毎日新聞 2021/09/25

2021:8./ 197p  
978-4-09-396552-1  
本体 ¥1,320〔税込〕



### 無と意識の人類史～私たちはどこへ向かうのか～

広井 良典 著  
東洋経済新報社

新型コロナウイルスの出現、大規模災害をもたらす気候の激変と温暖化、グローバル資本主義による格差と分断…。 「定常化」に向かう今、人類が「無」をどう捉えてきたかを遡りつつ、世界観、生命観、死生観のあり方を問い直す。

毎日新聞 2021/09/25

2021:5./ 279p  
978-4-492-22398-7  
本体 ¥1,980〔税込〕



### 吉田健一随筆集(平凡社ライブラリー 921)

中村 光夫 編  
吉田 健一 著  
平凡社

文学、旅、酒、食、そして友…。 人生の愉しみを自在に綴る吉田健一の芳醇な随想。 初期作「英国と英国人」から、晩年の文芸批評の佳作まで、盟友たる文芸評論家・中村光夫が精選。 虚実のあわいに遊ぶ名短篇「酒宴」を併録する。

毎日新聞 2021/09/25

2021:8./ 239p  
978-4-582-76921-0  
本体 ¥1,650〔税込〕



### 翡翠色の海へうたう

深沢 潮 著  
KADOKAWA

誰からも必要とされず、冴えない日々を送る葉奈は、人生逆転を懸けて小説家デビューを目指す。 慰安婦女性や戦争に弄された哀れな女性たちが書くべきテーマだと感じた葉奈は、沖縄へ飛ぶが…。 『カドブンノベル』掲載を書籍化。

毎日新聞 2021/09/25

2021:8./ 239p  
978-4-04-111079-9  
本体 ¥1,760〔税込〕



### 考えて、考えて、考える

藤井 聡太／丹羽 宇一郎 著  
講談社

名経営者・丹羽宇一郎と若き天才棋士・藤井聡太。 年齢も活躍する分野も大きく異なる 2 人が、勝負の前の心の整え方、逆境の越え方、時間の使い方、日常の学び、人生の目標について対話する。

毎日新聞 2021/09/25

2021:8./ 212p  
978-4-06-525040-2  
本体 ¥1,540〔税込〕



### 情報と国家～憲政史上最長の政権を支えたインテリジェンスの原点～

北村 滋 著  
中央公論新社

日本の情報機関や安全保障機構が抱える弱点と課題とは何か。 9 年半にわたり、野田・安倍・菅政権の歴代内閣を支えた前国家安全保障局長・北村滋が、日本の情報・安全保障政策を正面から語る。

毎日新聞 2021/09/25

2021:9./ 516p  
978-4-12-005462-4  
本体 ¥3,300〔税込〕





**海を抱いて月に眠る(文春文庫 ふ47-1)**

深沢 潮 著  
文藝春秋

親戚や家族に疎まれながら死んでいった在日一世の父。遺品のノートには、家族も知らなかった父の半生が記されていた。ノートから浮かび上がる父の真実の姿とは…。自らのルーツに迫る長編小説。

2021:4./ 341p  
978-4-16-791675-6  
本体 ¥869[税込]



毎日新聞 2021/09/25



**スタジオジブリの想像力～地平線とは何か～**

三浦 雅士 著  
講談社

なぜ宮崎アニメの作中人物は空を飛び、火と接吻するのか？ 西洋ルネサンスとアニメ・ルネサンスを雁行する視覚芸術史上の事件として眺め、スタジオジブリを人類史のなかに位置づける。『熱風』連載を改稿し単行本化。

2021:8./ 381p  
978-4-06-524132-5  
本体 ¥2,750[税込]



毎日新聞 2021/09/25



**山族公務員の流儀**

牧 慎太郎 著  
時事通信出版局

昭和、平成、令和を駆け抜けた山好き官僚の仕事論。日本各地でたくさんの人と山々に出会い、豊かな仕事と人生を探究した著者が、「地方の視点で仕事をする」ことの醍醐味を各地・時代ごとに振り返る。

2021:6./ 214p  
978-4-7887-1750-3  
本体 ¥1,870[税込]



毎日新聞 2021/09/25



**街どろぼう**

junaida 著  
福音館書店

大きな山のとっぺんに巨人がひとりきりで住んでいました。さびしくなった巨人はある晩、ふもとの街におりていき、一軒の家をこっそり持ち帰ります。それから何度も家やお店を山のとっぺんに持ち帰りますが…。

2021:7./ 31p  
978-4-8340-8622-5  
本体 ¥1,650[税込]



毎日新聞 2021/09/25